

特集

急増する女性スポーツユーザーの傾向と対策

NEW FZ400R新発売





ファクトリーマシン

'86ヤマハ

全日本チャンプ・平忠彦の世界GP250ccクラスへのフル挑戦、新結成の“チーム・ラッキーストライク・ロバーツ”による500ccクラスへの参戦など、こども世界の注目の中で“モータースポーツのヤマハ”が始動します。

ここにご紹介するファクトリーマシンを通じて展開される今シーズンの活動は、とくに新技術の開発、モータースポーツの普及、そしてなによりもみなさまの販売活動に直結するかたちでくりひろげられるものです。その成果にどうぞご期待ください。

*なおチーム編成と出場レースは24ページにご紹介しました。



Vツイン+デルタボックスフレーム YZR250

新開発の水冷、2サイクル、クランク室リードバルブ吸気のVツイン・エンジンをデルタボックスフレームに搭載した『YZR250』
その戦闘力の一端は、昨年世界GP第10戦・シルバーストーンでのテスト出場で、いきなりコース・レコードを叩き出して実証済み。今シーズン世界GP、全日本両シリーズでの活躍は、上昇一途のYZR250人気に一層の拍車をかけるものとなるでしょう。

■YZR250 仕様諸元

- 水冷・2サイクル・YPVS・クランク室リードバルブ吸気・V型2気筒・249cc
- 最高出力75PS以上
- 最高速度240km/h以上
- 点火方式CDI
- 6段変速
- タイヤ(前)16、17インチ(後)17、18インチ
- 車両重量100kg以下

定評のハイポテンシャルをさらに熟成

YZR500

平選手の手で全日本V3を達成した『YZR500』は、'86年、水冷Vフォーエンジンとデルタボックスフレームをさらに熟成、衆目の認める安定性、信頼性を一段と高めての登場です。

エンジン関係では最高出力のアップ、出力特性の変更、冷却性や整備性の向上がはかられ、また車体関係でもトータルなディメンションやアライメントの見直し、シート形状の変更、剛性バランスの向上などがはかられています。

■YZR500 仕様諸元

- 水冷・2サイクル・YPVS・クランク室リードバルブ吸気・V型4気筒・499cc
- 最高出力145PS以上
- 最高速度285km/h以上
- 点火方式CDI
- 6段変速
- タイヤ(前)16、17インチ(後)17、18インチ
- 車両重量120kg以下



さらに熟成、信頼のDOHC、16バルブ

YZF400

4サイクル・ロードレーサーは、400cc、750ccともにFZRから“YZF”へと名称を一新しました。ヤマハファクトリーマシンの統一呼称“YZ”と4サイクルを表す“F”を冠しての登場は、そのまま4サイクルマシンによるロードレースに、これまで以上に積極的にチャレンジするヤマハの姿勢を表わしたものの、『YZF400』も、3シーズン目を迎えて、熟成度を大幅に高めています。

■YZF400仕様諸元

●水冷・4サイクル・DOHC・4バルブ・並列4気筒・399cc ●最高出力70PS以上 ●最高速度230km/h以上 ●点火方式フルトランジスタ ●潤滑方式ウェットサンプ ●6段変速 ●タイヤ(前)16、17インチ(後)17、18インチ ●車両重量135kg以下



2シーズン目を迎えて
期待のジェネシス・パワー

YZF750

デビュー1年目の昨シーズンは、スズカ8時間、ボルドー24時間のふたつの世界耐久選手権レースで、また全日本F1クラスで大活躍し、ジェネシスの非凡なポテンシャルを世界に立証したFZR750。'86年『YZF750』は、そのFZR750をベースに、吸排気系の見直しによるパワーアップと出力特性の向上、エンジンの耐久性向上と軽量化、さらに車体全体の軽量・コンパクト化、フレームの剛性アップ、ブレーキ性能や空力特性の向上、などによって徹底した戦闘力アップを果しています。

■YZF750仕様諸元

●水冷・4サイクル・DOHC・5バルブ・並列4気筒・749cc ●最高出力130PS以上 ●最高速度270km/h以上 ●点火方式フルトランジスタ ●潤滑方式ウェットサンプ ●6段変速 ●タイヤ(前)17、18インチ(後)17、18インチ ●車両重量155kg以下(スプリント仕様)



YZM500

■YZM500仕様諸元

●水冷・2サイクル・Y P V S・単気筒・487cc ●60PS以上/7000rpm ●点火方式C D I ●4段変速 ●タイヤ(前)3.00-21(後)5.00-18 ●ブレーキ(前)ディスク(後)ドラム



YZM250

■YZM250仕様諸元

●水冷・2サイクル・Y P V S・単気筒・246cc ●最高出力50PS以上/8250rpm ●点火方式C D I ●5段変速 ●タイヤ(前)3.00-21(後)5.00-18 ●ブレーキ(前後とも)ディスク



★表紙★

'86YZR500で世界GPに挑戦する“チーム・ラッキー・ストライク・ロボーツ”。“キング”ケニーを総帥に、R・マモラ(右)、M・ポールドウィン(左)の両ライダー

大人気のFZ400R 商品性を高めて新登場!

- カラー：シルキーホワイト/レッド、シルキーホワイト/ブルー
- 標準現金価格：60万5千円(北海道、沖縄は6千円高)



「FZに乗るとウマくなったような気がする」そんなユーザーの声を集め、いまや「名車」のイメージさえ定着している400cc・スーパースポーツのトップセラー、『FZ400R』が、定評の乗りやすさと商品性をさらに高めて、来たる3月16日より新発売となります。

●ニューFZ400Rの新たな特徴

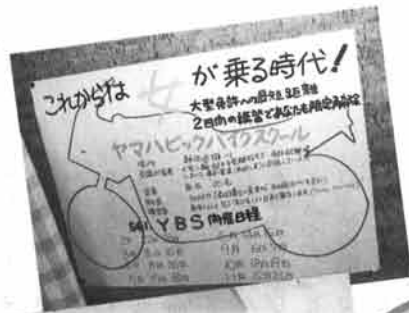
- ①ニュータイプのアルミ・セパレートハンドルを装備して、乗りやすさをアップ。(ハンドル幅は、650mmから675mmに拡大、グリップ位置もアップ。)
- ②エアプレーンタイプ・フューエルタンクキャップ採用。
- ③サテンメッキ鋼板を巻いてグレード感を高めた4インチ
- ④アルミ製フォートレスト。
- ⑤前後輪のホワイトホイール。
- ⑥エアロダイナミクス効果を高めたニュータイプ・バックミラー。
- ⑦よりレーシーなイメージを強調したニューカラー、ニューグラフィック。



SRX600に ニューカラー追加!

テイستیなモーターサイクルの世界を広げて根づい人気を集めるポテンシャル・シングル『SRX600』に、3月20日より、ご覧のようなニューカラー「グリニッシュブラック」が新登場します。これにより『SRX600』は、グリニッシュブラックとファインシルバーの2カラー。どうぞお客さまに合わせておすすめください。

いま、いちばん ゲンキな女性たち



急増する女性スポーツユーザーの 傾向と対策

特集



ひよっとすると日本人全体の中で、いま一番活発な消費生活を送っているのは、若い女性たちではないでしょうか？

10代後半から20代前半のギャルズ&レディス。

そんな女性たちは、ここ数年スポーツバイクの世界にも急速に増えつつ、お店の商圏やご商売の内容によっては、決して無視できない存在にまで成長しつつあります。

女性ライダーは、どんな思いでスポーツバイクに乗り、バイクライフをエンジョイしているのか？

春のスポーツバイク商戦のスタートにあたって、今月は増加めざましい女性スポーツユーザーの傾向と対策を考えてみました。

私たちの女性スポーツユーザー20名に聞きました スポーツバイク・ライフ

まず話のはじめに、増えているといわれる女性スポーツユーザーの比率がどの程度のものなのか、を見ておきましょう。

昨年のヤマハの調査によると、最も女性スポーツユーザーの比率が高いと思われるSRX250で、なんと全体の23%、FZ250フェザーでも10%を女性ユーザーが占めています。

そして、この両モデルに共通しているのは、ツーリングやレジャーから日常生活の足まできわめて幅広く使われていること。さらに、他のスポーツモデルに比べて新規需要の割合が大きいのが特徴となっています。

しかし、ひとくちに女性スポーツユーザーといっても、そのタイプは千差万別。バイクの楽しみ方もさまざまで、実態はなかなかつかみにくいものです。そこで本誌では、そんな女性ライダーの実態に少しでも触れてみようとして、1月25日、東京・目黒区のアマハ研修センター東京で開かれた『YSP東京プロック・レイスマカニカルスクール』に集まった20名の女性たちに、彼女たちのバイク意識を聞いてみました。

「バイクのことをもっともっと知りたい」という積極的な姿勢で、この日メカニカルスクールに集まった彼女たちですが、決してマニアックな少数派などではなく、いずれも都内の至るところで日常よく見かけるごく「普通」の女性ライダーたち。バイク乗車歴も半年未満のビギナーから5年以上のベテランまで、また年齢も19才から38才までと幅広いことから、彼女たちの言葉はごく平均的な女性ライダーの意識とみてよいでしょう。



ちなみに、この日の『レイスマカニカルスクール』に参加した20名の女性を年齢別で見ると、10代3名、20才12才8名、23才15才5名、25才以上4名の内訳。職業も学生3名、OL5名、その他看護婦さん、栄養士さん、デザイナーから主婦までと多彩です。また彼女たちの所有バイクの内訳をみると4サイクル・250ccが11台と圧倒的多数、2サイクル・250cc4台、4サイクル・400cc2台、オフロードモデル3台となっています。

自分の意志でスポーツバイクに乗り始めたの

まず最初は、彼女たちがどんなキッカケでスポーツバイクに乗り始めたのか？ その動機からうかがってみました。

「スポーツバイクは男の乗りもの。それにおしとやかで控え目な女性が乗るのは、きっとボーイフレンドなど周囲の男性の影響が大きいのだろう」

とまあ、こう考えるのがごく常識的。またこう思っている販売店さんも多いことでしょう。しかし、今回のアンケート結果を見る限りでは、あながちそうとも言い切れません。な

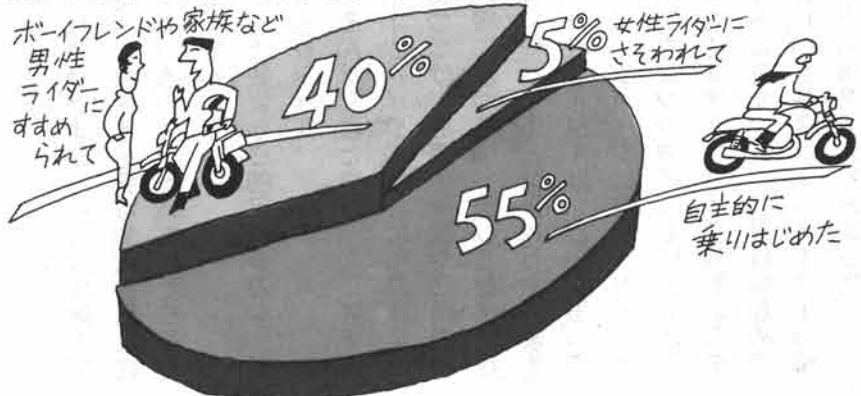
んと半数の女性たちは、しっかりと自分の意志で、乗ってみたいと思ってスポーツバイクに乗り始めているのです。

『FZ250フェザー』に乗り始めてまだ6カ月という立原真由美さん（写真左・23才、東京都葛飾区）も、そんな自主的・女性ライダーのおひとりです。

「この話をするといつも笑われてしまうんですけど、私がオートバイに憧れたのは小学校2年の頃。テレビの『仮面ライダー』を見て、あのサッソーンと走る姿にひかれたんです。それからずーっとオートバイに乗ってみたいと思いつづけていました。高校は女子校で周りにオートバイに乗っている友人もいな



こんなキッカケでスポーツバイクに乗り始めた



かったのがそのままになっていったんです。ところが最近じゃ街のあちこちで女性のオートバイ姿を見かけるようになりましたよね。それに女性にもビッタリのオートバイも出てきたようなので、長年の夢を実現させようと自分で教習所に通い中型免許を取ってFZ250フェザーを買ったんです」

この立原さんと同様に自主的にオートバイに乗り始めた方がたの多くは――

- ▼子供の頃から憧れていた。
- ▼自由はどこへでも行けるから。
- ▼他の人がバイクで走っているのを見て、とても気持ちが良さそうだから。

――とその動機を語っています。（表1）

スポーツバイクは
レジャー・スポーツ感覚で乗る

次に彼女たちにバイクの楽しみ方をうかがってみました。

それによると、通勤・通学などで毎日スポーツバイクを使っていると答えたのは20名中わずか1名。ツーリングに行くとか答えたのが11名と最も多く、2ヵ月に1度というのがその平均的な頻度です。そして、このツーリングと合わせて彼女たちが楽しんでいるのが休日やお仕事の後の「街乗り」というわけです。

いずれにしても、通勤・通学からレジャー、ツーリング、はてはサーキットランまで、1台のスポーツバイクをフルに乗りまわす男性

『意識して欲しい、でも特別扱いはイヤ』
この複雑な女性ライダー心理

女性二輪専門誌「キャッツ」編集長 かとう まさこさん

『信号待ちで横に並んだ男性ライダーからジロジロとみられるのはイヤ、女性ライダーだからって特別な眼でみないで欲しい』
こんな女性ライダーの声をよく耳にします



けど、これは10.0%未満。だって、女性性を意識して欲しいから、ヘルメットの後から髪をなびかせて走ってるでしょ。あんなに髪を痛むことってないんです。プレスレットや指輪などをつけたり、ウェアも可愛いのを選んで必ずどこかで、女の子を主張している。

でも、バイクやライディングについて彼女たちが求めているのは、逆に男性と同じレベルなんです。『キャッツ』の企画でもソフトなものより、基本的なライディングテクニックやメカ知識、ニューモデル試乗記などハードウェアに関するもので、初心者にとってベーシックな情報に人気がある。

『女性だからメカの話は……』とか『女性の知識はこの程度でいい』なんてことではなく、バイクショップでも特別扱いせず、男性ユーザーと同じように接することが大切なんじゃないでしょうか。

ユーザーと、レジャー・スポーツと割り切つてバイクを楽しむ、女性ライダーとの差がはっきりと表われているようです。

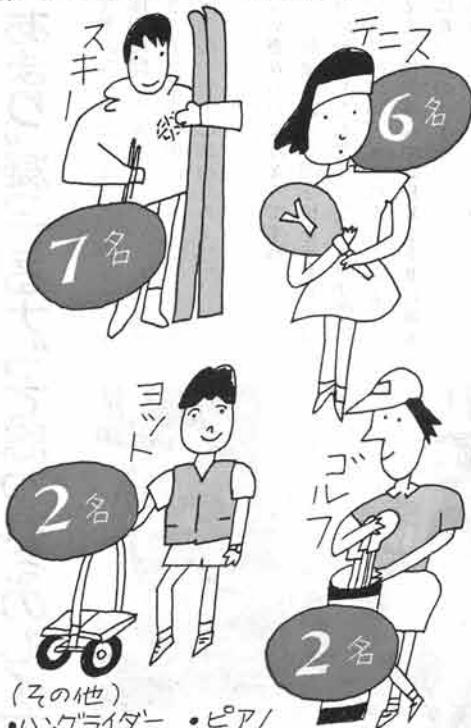


バイクも数多い趣味のひとつ
テニス、スキー……スポーツバイク

レジャー・スポーツといえば「あなたの趣味は？」という質問に、男性ライダーの場合「バイク一本槍」という答えがきわめて多いのに対し、スポーツから読書や手芸などまでバラエティ豊かな趣味をあわせ持っているのも、彼女たち女性ライダーの一番の特徴といえるでしょう。

そして、そんな幅広く、数多い趣味のひとつとしてスポーツバイクにも乗っているとわかれます。今回お訊ねした20名の中

スポーツバイクとあわせて
楽しんでいるリッチなスポーツ



- (その他)
- ・ハングライダー
 - ・バトミントン
 - ・カーレース
 - ・レコード鑑賞
 - ・ピアノ
 - ・登山
 - ・絵画
 - ・読書



でも、「バイクの他にはこれといった趣味はない」と答えた方はわずか2名。そして彼女たちがバイクと合わせて楽しんでいるスポーツは、たとえばゴルフ、スキー、テニスといずれもリッチなイメージのスポーツがトップスリーに名を連ねています。

しかも、テニスをする女性はほとんどスキーもするというように、共通していくつかの趣味を挙げている人が何人もいるのは興味ぶかいところです。

月づきのバイク経費、5千〜2万円

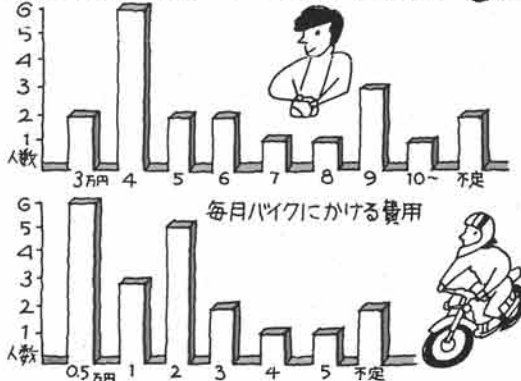
では、そんなに幅広く、数多い趣味生活をエンジョイしている彼女たちのサイフの中身は？ こればかりはお齡やお仕事でひと月3万円から10万円以上とかなりの格差がありますが、平均額は約5万円。

このうち、バイクに使うお小遣いは月に5千円〜2万円。もちろんこれは、バイクのクレジット返済やヘルメット、ウェアなどの購入経費などを含まない額。その内訳は、メンテナンス代、アクセサリーや小物の購入費、ガソリン代、ツーリング時の経費といったところ。

このうち、月平均のガソリン代だけをみると約5千円程度。こんなところからも、意外に走りまわっている彼女たちの姿を想像することができます。



女性スポーツユーザーのひと月のお小遣い



バイクショップはコミュニケーションを広げる場。親しみの持てるお店がいい

さて次は、気になる女性ライダーたちのバイク販売店さんに対する印象をうかがっていきましょう。最近では常連の男性客と一緒に、夕ぐれ時の販売店さんでなごやかに談笑する女性ライダーの姿をよく眼にしますが、この日集まった女性ライダーたちに「行きつけのお店がありますか？」と聞いてみました。その結果は、3分の2の人たちが「イエス」と答えています。では、来店の主な目的はというと――

- ▼友人がみな集まって来るから。
- ▼楽しい話題やバイクの情報を求めて。
- など、コミュニケーションが一番のお目当てとなっています。

しかし、ここでちょっと気になるのは、彼女たちの半数以上が、現在のバイクを購入したお店と最近よく行くバイク販売店さんが、同一ではない、ということ。何かのきっかけであるお店でバイクを買ってしまったけれど、もっと良いお店が見つかったから買

あまり「凝っているな」って思われるのもイヤ

さて興味深い女性ライダーの声をもう少し具体的に聞いてみよう、というわけでSRX250に乗る福田直子さん(22才)を豊島区池袋のお宅に訪ねてみました。

――この春からOJだそうですね。

ええ、建築設計の専門学校を卒業して設計会社に就職したんです。いま卒論作成中、テーマは古代建築・五重塔なんですよ。

――そんな福田さんがSRX250に乗るようになったのは？

趣味のロックバンドをやっていて、他の仲間がみんな乗っているからです。母からも「お友達の後に乗らずに自分で運転しなさい」といわれましたね。59年の11月に中型免許をとって、半年以上経った60年の8月に近くの「サンベスト東信・池袋店」さんで購入しました。

――免許をとってすぐに乗らなかったのは？

11月に免許を取り、12月にスキーに行ってしまったのでバイク代がすべてふっとんじやったから。スキーシーズンが終ってしばらくしたら今度は梅雨でバイクなんか……ってかんじ。7月に入ってそろそろ乗ろうかって、近所のお店に行ったら、すごく気さくな店長さんなので、すぐ決めてしまいました。



した。

スキー歴は3〜4年、今年中には級を取るつもりです。テニスもやるけど、あれは2人いないとできない。相手を気にしないだけスキーの方がいい。バイクもそう、1人でも楽しめるのがいいですね。

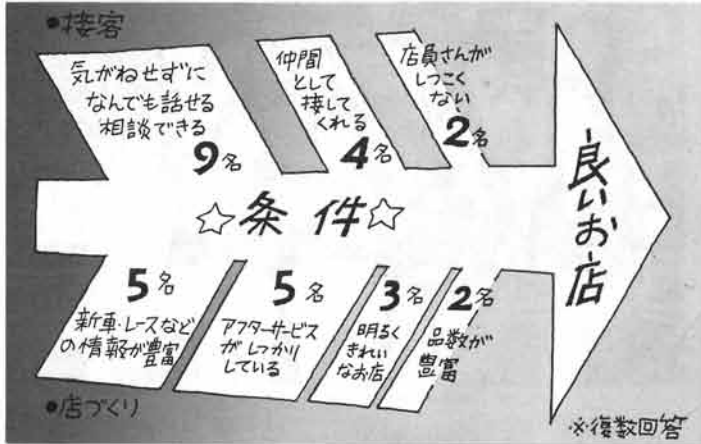
――バイクに乗るのは、ファッション的な要素もありますか？

いいえ。バイクって野性的な乗りものだと思うから、カッコだけじゃ乗れない。見た目はいいけど、乗るとカッコいいだけじゃすみませんからね、特に女の子の場合。だから、ファッションとして皮ツナギを着る女性もいるんですけど、私は身長も低いからあまり着ません。あまり、凝ってるな。って思われるのもイヤですからね。

SRXと同じレッドのジオラマヘルメット、レザーパンツ、ワンピースのレインスーツ、ツーリングバッグそれとスベアのハンドルレバー2本、これが私のバイク装備です。

急増する女性スポーツユーザーの 傾・向・と・対・策

女性スポーツユーザーが描く理想の販売店像



「ったお店にはもう行かない」というわけでは、彼女たちにとって、良いバイク販売店とは、どんなお店なのでしょう？ いくつもの条件が挙げられましたが、ほとんど全



員に共通しているのが、お店の人や他のお客さまとよりよいコミュニケーションが持てるお店」ということ。
『入りやすく、気がねせずにいろいろとバイクの話を聞けるお店。親しみの持てる応対をしてくれ、仲間意識を持たせてくれる』ことを、彼女たちは一様につよく望んでいました。



**長く楽しめる
趣味として育てたい**

最後は、今後のバイクの楽しみ方についてです。『レイス・メカニカルスクール』に参加された20名を代表して、FZ250フェーザーの荻原博子さん(写真左・20才、東京・目黒区)の声を紹介します。

「ワインディングロードをもっともっと上手に走れるようになりたいし、大型二輪免許も欲しい、サーキットライセンスも取りたい、

こんなバイクライフを楽しみたい



とにかくバイクで楽しめることは何んでもチャレンジしてみたいんです。もちろん、オフロードもね。でも、そんなに手がまわるかしら……」

★
昨今の女性スポーツユーザーの増加は、一時の流行、ブームにすぎないのか？ 市民権を拡大してきたスポーツバイクの当然の結果として幅広く定着したものか？ その見方はまだまださまざまなようですが、この日集まった女性ライダーたちは、スポーツバイクを決して一過性の遊びとしてではなく、長く楽しめる趣味として育てたい、という意見で一致していました。

こうした女性スポーツユーザーの育成に、今年こそお店でもより積極的に取組まれては

女性スポーツユーザーの集まるお店

前ページまでに女性スポーツユーザーの意識や実態をさぐってききましたが、ではそんな女性スポーツユーザーを増やすために、販売店さんとしては何を、どうすればよいのか、女性ライダーが多く集まる2店の販売店さんにかかってみました。

対応は気どらず、気軽にと！

男性、女性の別なく接していきます

■ヤマハオートショップ・フルタ／フルタレディースクラブZELDA(ゼルダ)古田詔一社長(長野県松本市)



レディースクラブ「ゼルダ」のみなさん



↑左から古田詔一社長、メカニック・スクールの講師も担当するサービスマンの稲原さん、そして古田俊二専務と担当のヤマハ東京・松本営業所の赤塚セールスマン

←発足以来2年、毎月1回いまでもつづいているレディースクラブ「ゼルダ」のメカニック・スクール。こうした活動が女性ライダーのバイクへの関心をどんどん深めている

雄大な日本アルプスの麓にひろがる清澄感
いっぴいの町、信州・松本。今の季節では、雪
と寒さのためにスポーツバイクの走る姿を見
かけることはありませんが、シーズンともな
れば、関東、中部一円のライダーたちの最高
のツーリングスポットとしてにぎわう所でも
あります。

そんな松本の街で、バイク販売36年、ヤマ
ハ専売店として、活発な普及活動を展開し
てスポーツユーザーを増やしているのが、
「ヤマハオートショップ・フルタ」さんです。
同店はまた、ヤング男性ばかりでなく、女
性スポーツユーザーが集まることでも知られ
ていますが、2年前からはそんな女性ライダ
ーたちが女性だけのクラブ「ゼルダ」を結成
して、ますます充実したバイクライフをエン
ジョイされています。

**カッコだけで乗り始めた女性でも
走る楽しさを知ると変ってくる**

まずは、お店に集まる女性ライダーの意識
について、彼女たちから「兄さん」と呼ばれ、
親しまれている古田俊二専務にかかってみ
ました。

「女性のお客さまが目立って増えてきたの
は3年くらい前からですが、彼女たちがオー
トバイに乗るようになったのは、いわば時代

の流れじゃないかと思えますね。女性の意識
が変ってきたというか、どのレジャーやスポ
ーツでもそうですが、男性にできることは自
分たちでもできる筈という意識が女性全体に
根づいてきた結果のひとつでしょう。

だから、そんなに大袈裟な理由や理屈はな
く、走っているのを見てカッコ良かったから
とか、皮ツナギ姿に憧れてとか、まるでファ
ッションのひとつのような気軽な動機で乗り
始めているんですね。

でも、一度バイクで走る楽しさを感じると
また変ってくる。うちに集まる女の子たちが
作った「ゼルダ」というレディースクラブがあ
って、よくメンバーのみなさんが店に顔を出
してくるんですけど、彼女たちを見てみると、
ライダーとしてのプライドは男性よりも高い
んじゃないかと思えます。

その一例ですが彼女たちは、トレーナーや
パッチ、プレスレットなど、クラブ員揃いの
小物をよく作るんです。これはオートバイ
だけじゃなく、そこに集まる仲間や周辺の環
境までも、とても大切にしていることの表れ
だと思えます。

ですから、走ることの楽しさを、キチッと
した形で教えてあげれば、彼女たちとお店の
結びつきというのは、男性ライダー以上に確
固たるものとなると思います」





女性だからではなく、初心者だから特別に親切な対応を

つぎに、そんな女性ライダーへの対応について後二専務の実兄で、姉妹店「YSP松本」さんを担当する古田昭一社長にうかがいました。

古田社長は、柔和な表情の中に強い意志を秘めた人。男女の区別なく、お客さまにオートバイを楽しんでもらう第一歩は安全運転指導の信念を徹底して実践されていることでも知られています。

「うちは店も狭いですし、常連のお客さまも多いので、初めての女性客はちょっと入りづらいかも知れませんが、店に入ってきてからはとくに親切な対応を心がけています。でもこれは女性だからという理由ではなく、オートバイの初心者ということで、そのようにしているわけなんです。逆に言えば、女性だからという、特別な意識や先入感を持たないように心がけている、とも言えますね。」

ただ女性の場合は男性と比べると、メカに対する恐怖心みたいなものがあるので、一度転ぶと次から乗らなくなってしまう。だから、例えば「RZ250R」を買いにきても、その人に乗り切れないと思ったら売れません。まずはカッコよりも走る基本をシッカリ覚えてもらうために「SRX250」などの乗りやすいモデルをすすめるんです。それと、女性と学生に売る場合は、必ず保護者の承諾を得るようになっています。まわりに内緒で乗って事故でも起されたら、二輪車の社会的なイメージ

に悪影響を与えてしまいますからね。このために何度かお客さまを逃がしたこともありましたが、この部分をしっかりとやっておかないと、長続きしませんね。こちらが親身になって安全運転をアドバイスしてあげるのと、とくに女性や初心者を固定化するための第一歩だと思います。」

イベントへの参加意識も高い女性たち

「こういったアドバイスの他に、メカのことや運転技術のことなど、なんでも相談にのりますが、売ってからももうひとつ大切なことは『飽きさせない』ということですね。ひとことと言えば『遊ばせる』ということです。はたから見ていると楽しそうだけど、やってみたらこの程度か』なんて言われぬように。そのためにもツーリングやYRSなど、色んなイベントをやっています。」

女性イベントへの参加意識も強いようで、一度楽しさを味わうと、口コミでその輪が広がっていくようです。今年も女性も気軽に楽しめるモータースポーツということで、スクーターレースへの参加を呼びかけてみようと思っています。まあ、その時のタイミングによって、色いろと対応の仕方はあると思いますが、基本となるのは人間関係、そして安全を守るサービス技術、さらに即効ばかりを期待せず長い目でみたアフターフォローでしょうね。」

取材にうかがった2月初旬の一日、夕刻ともなる仕事を終えたレイスクラブ「ゼルダ」のみなさんが、いつものように「ヤマハオートショップ・フルタ」さんのお店に集まっています。

そんな中でリーダーの大沢由利子さん(25才)は、「気軽らず、気軽に相談にのってくれるお店なんです。何を相談しても徹底的に面倒を見てくれて、とても良心的です。オートバイに乗る仲間、という感じで接してくれるのがとてもいいですね。このお店との付き合いとオートバイは、子供を背負ってでも続けていきたいですね(笑)」と、キラキラと瞳を輝かせながら話してくださいました。

女性スポーツユーザーの集まるお店

仲間を広げるイベント、学習の場、新鮮な体験を絶えず提供して女性ユーザーを拡大

■株式会社わんわんレディース / 吉田道弘店長(名古屋市)



バイク販売36年の実績に女性客からも大きな信頼が寄せられ、女性スポーツユーザーの輪を広げている長野県松本市の「ヤマハオートショップ・フルタ」さんとは、まったく対称的に急増する女性ライダーに対応した「レディースライダー専門店」として誕生したのがここに紹介する「わんわんレディース」さんです。

「女性の集まるお店」で他店と差別化

名古屋市天白区のバイク通り、国道135号線に面して昨年の9月にオープンした「わんわんレディース」さん。すぐお隣りは姉妹店の「YSP名古屋東」さんですが、このYSP店でバイク販売やアフターサービスを中心としたハードウェア面をカバーし、「わんわんレディース」さんではウェアや用品を中心に女性のためのソフトウェアをフォローするという万全の体制がとられています。

また「レディースライダー専門店」とあって品揃えや店内の演出、セールの企画から実際の接客、販売まですべての面に3名の女性スタッフのセンスが活かされ、同時に彼女たち



を中立にして女性スポーツユーザー同志のコミュニケーションの輪が広がっています。

まずは、吉田道弘店長に「わんわんレディース」オープンまでのいきさつと、その後のお客さまの状況をうかがってみました。

「YSP名古屋東でも、ここ2年ぐらい急に女性の来店が目立ってきました。同時に、スクーターに乗っていたギャルたちがスクーターバイクに関心を広げていくケースも増えていました。

そのころ、うちにもすでに120名ぐらいの女性のスポーツユーザーがいたんです。この数字自体はYSP名古屋東全体から見れば、3%程度の割合にすぎませんが、スクーターからスクーターバイクへのステップアップ組を中心にこの女性ライダーの増加は今後もつづいていくだろう、うちとしてはそれを積極的に推進し、「女性ライダーの集まるお店」として他店との差別化をはかっているところ、ということ「わんわんレディース」をオープンすることになったのです。」

月平均1000名の女性が来店

こうして昨年9月28日のオープン以来約4カ月、その間の来店者数4000人、顧客として親しくおつきあいしているお客さまが、すでに「400名」にものぼるといいます。「平均すると月に約1000人の来店がある」ということですね。「雑誌広告を見てください」という女性が圧倒的に多いんですけども、この数は私自身予想以上でしたね。

思うにこれはそのまま、従来のバイク販売

急増する女性スポーツユーザーの 傾・向・と・対・策



↓ブティック感覚の店内は、女性ライダー同士のコミュニケーションづくりを特に配慮している



↑女性スタッフの声をフルに反映して、さまざまな企画を練る吉田店長(左)



→ヘルメットやウェアからインナーウェアまで、女性用品がならぶ「わんわんレディース」さんの店内。「各用品とも女性にあわせてSサイズを揃えるのに苦労しました」とか

店が、女性にとっていかに、「数居」の高いものであるかということの証拠ではないですか。やっぱり、女性が持っているバイク販売店のイメージは、「こわい」。「走り屋の集まる所」。「男の世界」ということなんです。スポーツバイクが多いほど、このイメージもつよい。そしてこれをぬぐい去るのは容易なことではないと思いますね」

孤立しがちな女性スポーツユーザー

YSP名古屋東さんの場合は、レディースライダー専門店という新店舗のオープンによって、この大きな障害を一旦に解消してしまっただけです。そして、実際お店に見えらる女性たちは、というところ……

「25才前後のOLが一番多いです。職場では、同じようにバイクに乗る女性はいないという人たちですね。普段は事務職ですから、店にみえられるのはほとんど週末に集中しています。職場でも同じようなバイク仲間がいなくて、横のつながりやクチコミの広がりがなく、折角店で女性のバイク仲間同志が出会っても、放っておいたのではお互いに孤立しているというのが、彼女たちの平均的な姿のようです。」

おとなしくて、目立たない、ごく普通の女性が多いんですよ(笑)

そんな女性ライダーたちだけに、「わんわんレディース」さんでは、さまざまな活動をくりひろげて積極的に女性をひき込み、女性ライダー同志の輪を広げています。

「彼女たちの多くは、誰かが声をかけ、一緒にバイクを楽しめる機会を作ってくれるのを切望しているんですよ。」

だからツーリングなどへの参加率は、男性よりも圧倒的に高い。それと意外なことですが、男性以上に探究心がつよくて、以前店で開いた「技術講習会」などは大好評でした。

女性は一度興味を持つと夢中になるようですね。それだけにいろんな情報を求めているし、バイクにしても「もつとメカニズムを知りたい」、走りにしても「もつと上手になりたい」という意欲がつよいんです。

そんなところから、いまうちの活動でとくに女性ライダーの人気を集めているのが、「レース観戦ツーリング」「技術講習会」「スターターレースへの参加」の3つ。つまり、参加して仲間の輪を広げられるイベント、知識欲を満たす学習の場、そして想像もしていなかったような新しい体験の機会を絶えず提供していくことですね」

◇アイディア・アルバムでイベント盛況

お店主催の定例ツーリング、楽しい思い出を写真に残してお客さまに手渡せば喜ばれること間違いなしです。しかし、参加者全員に配るとなると、その経費もバカになりませんね。そこで、写真ではなく、ひと工夫ほどこんした写真張り込み用の台紙を考案したのが千葉県某のT店さんです。

台紙といってもいたって簡単なもので、その日のコースや参加メンバーなどを書き込んだ紙をコピーしただけのもの。これを参加者に配布して、写真の方はお客さまがご希望のカットを実費で買っていただいています。



この台紙サービス、お客さまからはその日のツーリングデータがひと目で判ると好評を得ているばかりでなく、毎回のものをファイルしておけば、貴重なツーリング記録を残した専用アルバムが完成するという楽しさまでプラスしました。

走る楽しさにアルバム作りの楽しさも加えたため、毎月1回のお店の定例ツーリングへの参加者も、このところグッと増えているといえます。

◇ピクニック気分で楽しむモトクロス

最近のロードレース・ブームに押され気味で、今一歩伸び悩みの感のあるモトクロス。はたして底辺でのモトクロス人気は?というわけで、土曜日のモトクロスコースで遊んでいたアダルトファンのT氏にインタビューしてみましたところ、意外な答えが返ってきました。

その答えによると、この1年ぐらいいの間に、家族づれや女性、チビッコなどのライダーが目に見えて増えているというのです。しかも彼らは、お弁当持参で気軽にモトクロス場へやってきて、ピクニック気分、ライディングを楽しんでいくといっています。そして、かくいうT氏も――

「販売店のクラブにも一応箱は置いてありますが、実際にモトクロスを楽しむときはほとんどクラブとは関係のないところでやっています。クラブの若い人たちはレース目的の本格的なもので、私のようにただ走っていれば楽しい、汗を流すのが快感というようなライダーとは別世界ですからね。休日のストレス解消と健康維持のためのマイペース・モトクロスも、なかなか楽しいですよ」

純然たるレジャーとしてモトクロスを楽しむ人たちが想像以上に増えているというT氏の意見、お店でもクラブ活動をもう一度試みてはいかがでしょう。

◇女性客動員に欠かせない「味」と「流行」



女性に乗りやすいバイクも揃ったし、女性用ウェアも置いたのに、なぜか来てくれない女性客。それじゃひと女性だけのツーリングイベントでも開催してみるか?というときの参考に、女性客が日毎に増えているというある販売店さんにごっそり教えていただいた女性ライダーの動員のコツをご紹介します。

「女性ライダーの動員は、まず女性の弱点を知るべし」とおっしゃる社長さんの秘訣とは――

- 女性には食べ物に弱い
- 女性には流行に弱い

この2つの大きな弱点を頭に入れたうえで、企画を練るのだそうです。例えば、ツーリングの時には、単に景色が良く走りやすいコースを選ぶだけではダメ。コース途中で楽しめる名物料理探検とか、目的地を最近人気の温泉にするとか、必ずこれら弱点を入れたものにすると、これで女性ライダーの心はしっかりとキャッチできるというお話でした。もともと「女3人よれば……」なんていわれるだけに、話のタネを提供してあげるといふこの動員のコツ、その効果も十分にうなづけますね。

◇仲間とハナシが合わない……

最後に、最近東京で目にするヤングの流行をご紹介します。

とかく近頃の若者は――なんていう言葉で始まるヤング評から「根気がない」「辛抱を知らない」という意見をよく耳にしますが、なかなかどうして辛抱強いヤングも多いようです。

その好例が青山や渋谷、原宿などのファーストフード店に集まるヤングたち。彼らはなんと、ソフトクリームやクレープなどというオヤツを食べるために、30分以上もお店の前に行列しているのです。

なぜ、並んでまでそのお店のものを食べたのかといえは――

「話題の店のことを知らないと、仲間と話が合わないから」というわけ。ヤングの間に増殖中のこんな心理、ご存知でしたか?

セールスウインポイント3月

- 1日 全国緑化運動
- 3日 ひな祭り
- 6日 啓蟄(けいちつ)
- 8日 国際婦人デー
- 15日 60年度確定申告〆切り
- 18日 彼岸入り
- 21日 春分の日

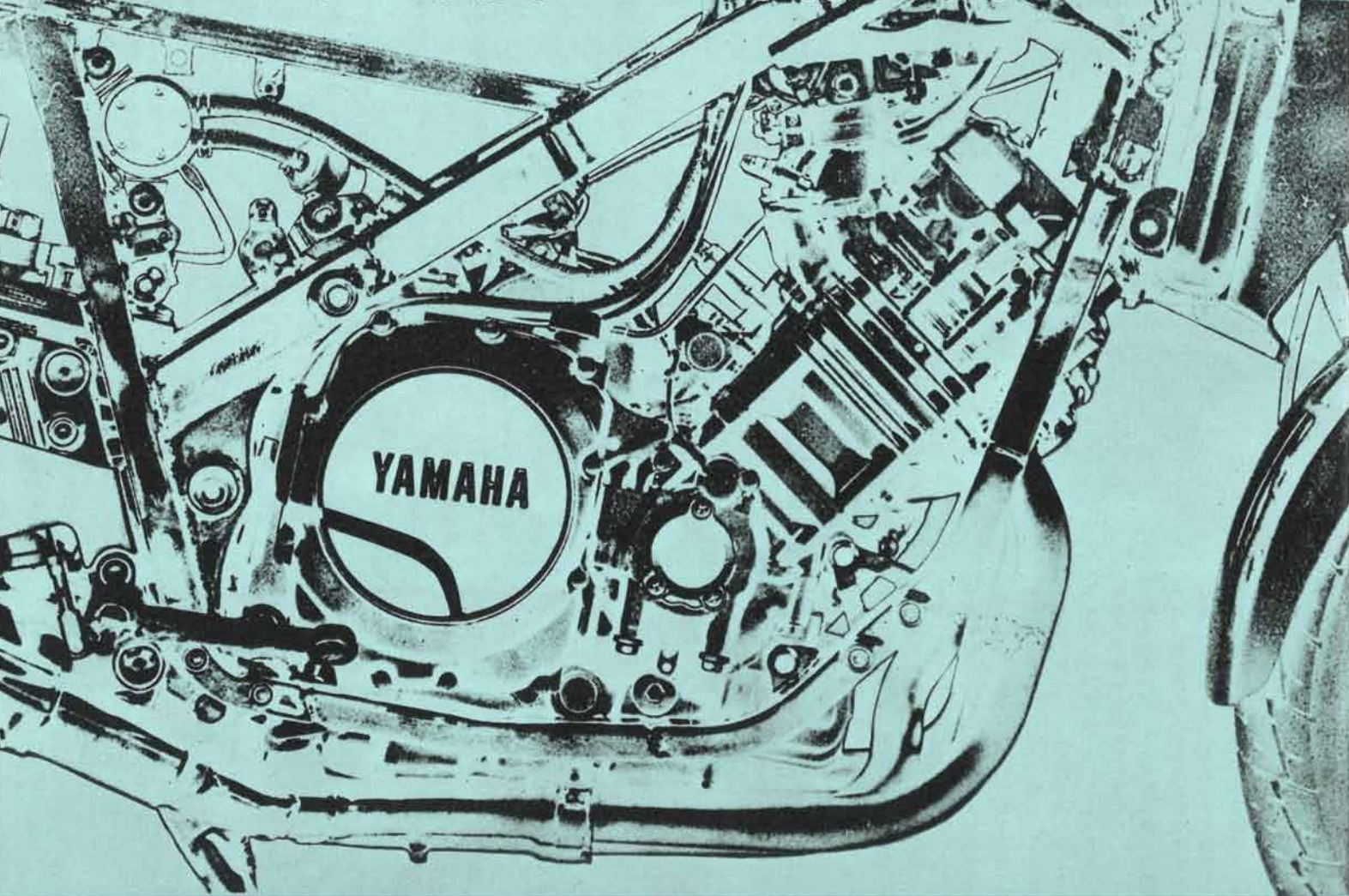
★陽気も日まじに春めき、人の心もウキウキする季節。当然「スクーターもそろそろ新しく」などという気持ちも、大いに活発になってくる時期です。

★ひな祭りセール、卒業・進学・就職お祝いセール、おめでとうセール、お客さまへ積極的なアプローチをはかりましょう。

★スクーターも、スポーツバイクも、春こそ今年一年の二商売を左右する大切な時期。そして、3月はそのスタートの時です!

操安性にみるヤマハらしさ(2)

操縦性の中に安定性を、 安定性の中に操縦性を生み出すジェネシス



■操縦安定性という 不可解な言葉

操安。つまり操縦安定性という言葉は、実に不可解な言葉だと思いませんか。操縦性と安定性というのは、互いにまったく相反する要素なのに、ひとつの単語として使われているからです。

これまで、操縦性といえばライダーの意志通りにオートバイが動くかどうか、つまり思ったように右や左に曲がってくれるかどうか、という意味でした。一方、安定性といえば、どっしりとした直進性を指していました。もちろん、こうした捉え方は間違っているではありません。しかし、ヤマハが新世代の技術思想として提唱した「ジェネシス」これを具現化したFZ750やFZ250フェーザーの場合は、従来のこうした捉え方を超えなければ理解できないのではないかと。そんな思いからこのシリーズの2回目は、いかにもヤマハらしいジェネシスとFZ750を例にとりあげてみました。

ズバリ、結論から申し上げます。FZ750の場合、操縦性の中に安定性があり、安定性の中に操縦性があるのです。これは私の数多くのオートバイ遍歴の中でも意外なことでした。先ほども述べたように操縦性と安定性とは相反するもので、オートバイのハンドリングを決定する上で、いつもどちらかを犠牲にしたり、中間をとって適当なところで妥協した特性になりがちでした。

しかし、FZ750においては操縦性の良さをコーナリングのしやすさだけに求めず、高い旋回能力を発揮しながら、コーナリング時に安定した挙動を確保しています。コーナリはただ軽く回れれば良好であるという表面的な操縦性評価はもう陳腐なものとなっていることを認識すべきでしょう。

コーナリの途中で、ライダーもマシンも安定したライントレースができることこそ、FZ750が求めた新世代の操縦性だといえます。

では逆に、安定性についてはどうでしょう。これまでは、直線走行時において矢のように一直線に走り抜けることこそが、優れた安定性とされてきました。しかし時代は変わりまじた。西ドイツのアウトバーンで、200km/hを超える超高速走行をした場合ですら自在にレーンチェンジできる操縦性をFZ750は実現しているのです。矢のようにつき進むことだけでも高度な技術力が必要であるのに、安定性の中に操縦性を加えたこのトライは、いま世界中のマニアに確実に理解され、評価を高めています。

何よりも安全性がまず優先されてしかるべきオートバイの世界において、このFZ750に投入されたヒューマンな技術は、一体どんな形で成り立っているのか、その点を一緒に考えてみましょう。

■前傾・低重心エンジンが つくり出す異次元の操安性

FZ750の優れたロードホールディングはまず、エンジンカタチが源になっています。正確にはシリンダーブロックが35度。エンジンをフレームにマウントする段階でさらに10度傾斜させ、トータルで45度の前傾となつています。この前傾が操安に与える影響は多大で、重心はより前へ、そして下に移ることで、より車体前後の重量配分は理想とされている50対50となっています。しかもこれと

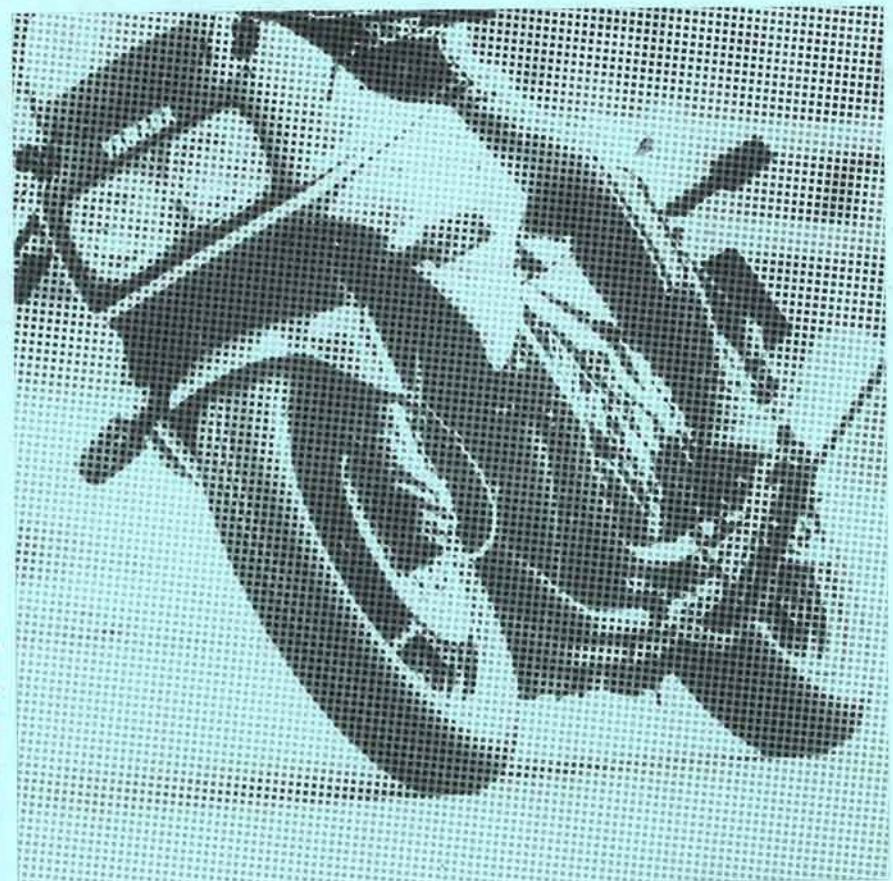
同時に、オートバイ全体の低重心化を図ることができま

実際にFZ750に乗られた方なら、そのまったく新しい操安性に驚かれたことでしょう。それほど車体をバンクさせることなく、通常よりも明らかに速い速度でコーナーをクリアできるということ。5バルブエンジンは確かにFZ750の特徴のひとつですが、それ以上にこの前傾シリンダーブロックの実現がなければ、到底可能とはなり得ない体験と言えるでしょう。

車体を深くバンクさせずに速くコーナーを回れることは、安全にコーナーを攻めることができることを意味します。つまり45度前傾エンジンは安全にコーナーを走るためのひとつの手段でもあるというわけです。

パワーの点からみるとどうでしょう。前傾化によって低重心を促進したエンジン上部に大容量確保のエアクリナーを配置し、これで効率の良いダウンドラフトキャブレターでストロークな吸気を実現。吸気効率の向上は、当然パワーとトルクの向上を促すわけです。そして抵抗の少ないストロークなエキゾースト部へと、この前傾エンジンのスタイルは構成されています。

より効率的にパワーを得るためのエンジン構成であると同時に、卓越した操安性を得るためのレイアウト。これこそFZ750について第一番目に触れておかなければならない点です。かつて、ここまでパワーと操安が相



乗効果を発揮した例はほとんどありません。このエンジンはそれほど大きく、徹底したスリム化によってエンジン幅はV4型に優るとも劣らない415mmという数値を達成。

これによって51度という深いバンク角を確保するばかりでなく、ライディングポジションの点でも、まさに理想的な形を実現することができています。自在に操ることが命のオートバイにあって、この類まれなゆとりのあるライディングポジションこそ、FZ750の操安性を端的に表しています。

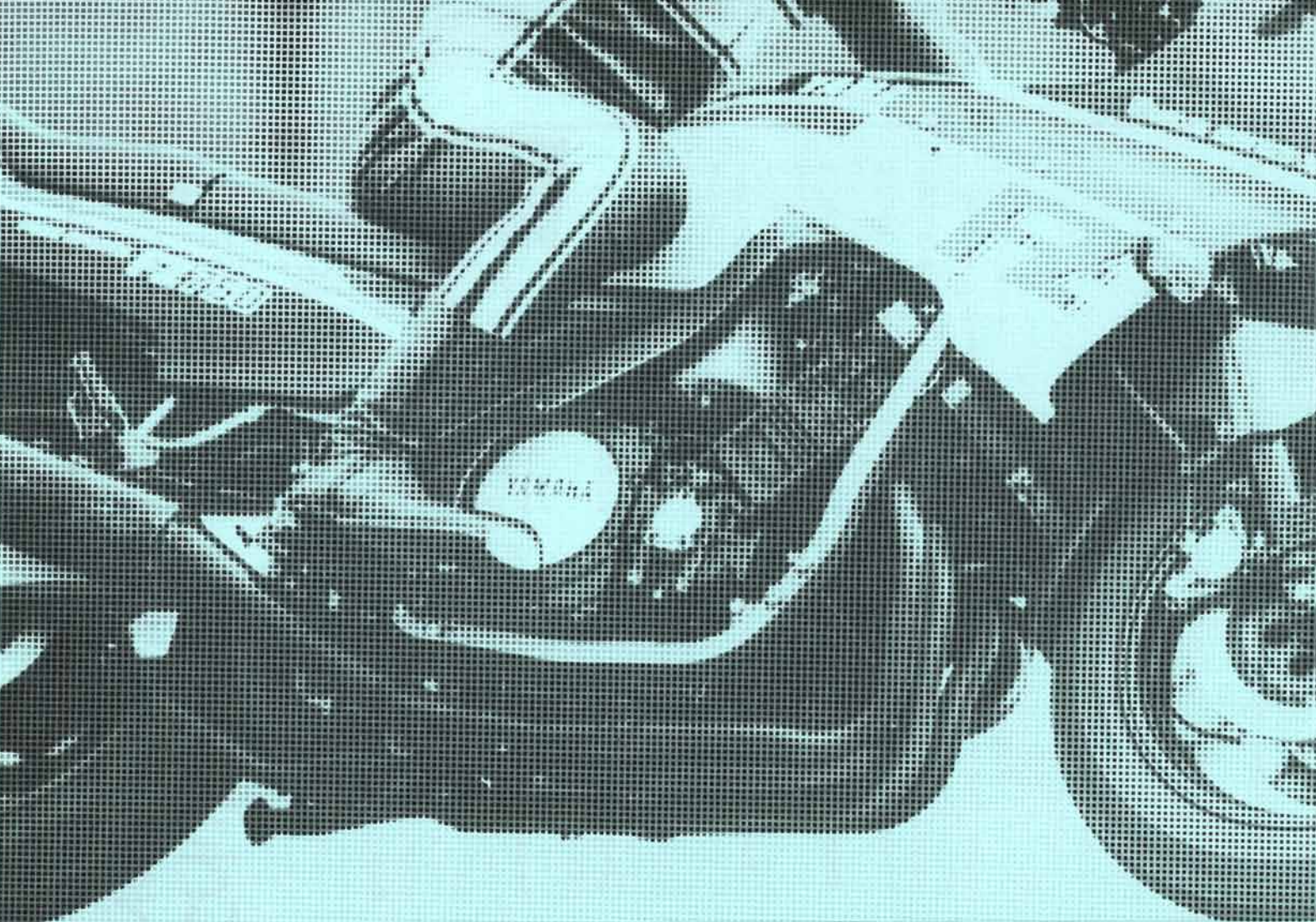
従来のエアクリナー部へ移った燃料タンクは、低い重心位置をさらに低くすることを可能としています。重量のある燃料が、さらに重心部へ一歩近寄っているのです。そしてこの燃料タンクはほぼ直方体の形状をとり、そうすることによってガソリンの容量変化に

よる重心の前後移動を最小限に押さえているわけです。

みなさんもお気付きのように、満タン時とそうでない時の操安性が微妙に違うように感じられるオートバイが、いまでもあります。が、やはりこの点でもFZ750には、優れた操安性を追求しての理想のレイアウトと見ることができるといえます。

■FZ750の フレームからみた操安性

さて、エンジンがコンパクトな上に、これだけ前傾しているのですから、おのずとフレームの方も設計の自由度が高まったことがお分かりいただけると思います。たとえばエンジンの全高が下がったことにより、フレームの



ヘッドパイプ部の位置をかつけないほど低くすることができた、ということ。低重心化にはこれは極めて大きな効果をもたらしたといえるでしょう。エンジンがこれほどまでに多岐にわたって操安面で貢献した例はきわめて少ない。オートバイといわず、自動車の世界においてもこれに匹敵する技術は希です。

操安面でライダーの安心感を決定的に左右するフレーム剛性についてもFZ750の場合、角型断面の高張力鋼管を用いた直線基調のフレーム構成としています。

高剛性を得るのにこれは最も通しているわけ、ヤマハのフラッグシップモデルFJ1200と基本思想を同一とし、ラテラルフレームの発展型としているのです。タンクレールはキャブレターサイドを通り、ステアリングヘッドからリアアームピボットとストレーに結んでいます。一方、ダウンチューブはエンジンをホールドするカタチで、エンジン下部で大きく絞り込んで深いバンク角を確保しています。

高剛性にして最軽量となるこのフレーム構造は、いたずらにアルミ材を使わずユーザーのために最適な価格でFZ750を提供できるという意味でも、現在考えられる最善の方法といえるでしょう。

操安性を左右するものとして、つぎにあげたいのは、やはりサスペンションです。フロント荷重を増大させたために、フロントフォークは39φインナーチューブという大口径。ライジングレート特性をもつバリアブルダンパーを装備し、圧側の減衰特性を変化させ、フロントフォークの沈み込みを押えています。むやみやたらにアンチノーズダイブ機構は装着せずに、基本的にサスペンションだけで、サスペンションとしての理想を追求するというこの発想は、まさに、シンブル・イズ・ベストと呼べるものです。リヤサスペンションはアジャスタブル・リンク式モノクロサスとアルミ角断面のスイングアームの組み合わせ。路面への追従性向上はもちろん操安性にも大きな効果をもたらします。

そしてもうひとつ。25度30分というキヤスタアングルと94mmという小さなトレール量

にも、高い操縦性を得るための秘密があるのです。この25度30分というキヤスタアングルは、従来のどんなナハンよりも小さいものでこれはまた操縦性の向上に欠かせぬ要素です。そして一方で先のように安定性は高剛性フレームと理想的な重量配分、そして低重心設計によって得ているわけです。

■ライダーに安心感をもたらす安定性のうえに、操縦性が追求される

先ほどにも触れた相反するはずの操縦性と安定性は、このようにして見事な融合をみせたわけです。人車一体という表現は、このFZ750にこそ相応しいというべきでしょう。さらに付け加えるなら、強力でしかも扱いやすい対向ピストンキャリパー装備のベンチレーターティッド型ディスクブレーキと日本ダンロップ社との共同開発による、スポーツラジアルK900の装備。どんな走りにも対応するための欠くべからざるメカニズムをこのFZ750は忘れてはいません。

FZ750の操安はまず、エンジンにはじまり、フレーム、サスペンション、タイヤ系によって相互に効果的に機能しあっているものです。何かひとつが秀でるとか、それぞれは最高だが組合せが今ひとつであるといった、総合バランスの追求を忘れたオートバイ作りは、けっして安全で快適なもの足り得ません。

ヤマハらしい操縦安定性とは、ライダーの安心感を植えつける安定性の上に操縦性が追求されたものです。そしてFZ750はこの良き伝統を守りつつ、さらにかつては考えられなかった新次元の要求、つまり、操縦性の中での安定性、安定性の中の操縦性の確立を手固いものとしています。どんな速度域でも安心して走れ、どんなライディングをも受け止めてくれる。それがFZ750にみるヤマハらしい操安性なのです。一見極く普通のスポーツポーツであるFZ750は、実は近未来のオートバイを思わせるに相応しい革新的なドリリングの持主なのです。

③
フオー・ザ・トレンド
仕掛人が語る、若者たちはいま



(プロフィール)18歳からパンクバンドのベーシストとして活躍、ライブハウスや学園祭を舞台にコンサートを展開する。22歳の時に東南アジアへ旅立つが半年後に帰国、以後25歳まで一大パンクブームを巻き起こした東京ロッカーとしての活動は27歳からする。音楽プロデューサーとしての活動は戸川純の「いまTVドラマやCMでも売出し中の戸川純のデビュー・プロモーションを皮切りに幅広く活躍。'84年12月にレコード制作・企画会社プレスクラブミュージック(PCM)を設立してレコード&コンサート制作を手がける一方、翌'85年には本初の本格インディーズ・レーベル「キャプテン・レコード」の発足に尽力。同レコードのプロデューサーとしてパンク・ロックの若いパワーの育成に努めるとともに、新たな流通・プロモーション機能の開発に取組む。

PCM代表/キャプテンレコード・プロデューサー 江口勝敏氏

「いびきもどいびきも買えるわけじゃない。これがかえっていい結果を生んでいってるんだ。」

すし、日本のパンク・グループにしても受験レースのおこぼれの要素が強い。世の中と相反する場面での主張が、パンク・ロックという形になって表現されてきたといえるでしょうね」

確かにメッセージというよりは叫びそのものに近いといえますね。

「そう、まさに叫びなんです。いや、怒りかな(笑)。リズムの速さといひ、ビートの効かせ方といひ、音量の強さといひ、奇抜なルックスといひ、それは叫びとしかいいようがない。何の原因かはよくわからないけど、とにかく頭にくるノって感じで、マイクに向かって、集まった聴衆に向かって叫び狂うわけですね」

仲間意識の快感

それが結構、話題になっちゃっていますよね。もちろん聴衆もみんな若いんですよ」

「高校生から、いいとこ22〜23歳位までですね。やはり聴きにくる方も、おちこぼれや今の社会に不適合な子が多い。彼らのライブに出かけてみて、何を一番感じるかといったら、そういう人たち同志の仲間意識なんです。

女子高生でもモヒカン刈りにしてたり、髪を金髪やメッシュにしたり。そしてギューウギューウ押し合ひ、へし合ひ体をぶつけ合ひながら汗まみれになってビートに酔っている。パンク・ロックが動員力をもっているのも、年ねんファンを拡大しつづけているのも、みんな仲間意識というところが原点にあるからだとおもいます」

かなり、マニエックなところもありそうですね。

「もう熱狂的なマニエックもいいところ。コンサートなんかでは、パラノイア的なマニエックな世界がバシッと作られちゃいますからね。最近ではボクなんかも入りこめない。(笑)いまアニメ・ファンって話題になっているでしょ。自分たちの世界はそれ一色で、アニメのキャラクターが友達になっちゃって、完全にその物語の中に同化しちゃっている。学校から帰ったらビデオに向かいっぱなしになったり、アニメの原画収集に狂奔したりね。そのアニメ・ファンとパンク・ロックのファンは似ているところが多々ありますよね。

ただ、ボクがパンク・ロックに共感を感じるのは、ステージの上にいる人たちは皆、カリスマ的ではあるけれども決して遠い存在じゃないノってことが見えるからなんですよね。そこが実に安心できるんです」

「怒り」の表現

まずパンク・ロックとは何ぞや?というところから説明いただけますか?

「パンク・ロックといえば'76年にイギリスでデビューしたセックスピストルズが有名ですが、ひとこといえば、異端の人びとの叫び」ということになりましたか。

そもそもロック自体が「反逆」の音楽ですよね。その最も極端な叫びがパンク・ロックなんです。セックスピストルズの音楽にしても、元はといえば失業問題や宗教問題、さらに階級差別といったところから生まれてきたもので

「とはいえ、攻撃的でマニエックな音楽となると、あまりメジャーなレコード会社では扱いたくない」といのが本音では?

「もちろんそう。でも、それ以前にパンクの連中自体が、ヘナからメジャーなデストロイビューターなんかには期待していないという面もある。日本の場合はまたちょっと違うんですけど、ヨーロッパのパンク人間たちはメジャーから作り出された音楽は、何ものも我々の生を表現していけない」とささ言いつついるほどで、自らの手でレコード・レーベルを次から次へと設立しちゃうわけですよ」



新生キャプテン・レコードのアルバム開始は10月から。以来、月3〜4枚平均でリリースし早くもロックファンの人気をつかむ

「いわゆる、インディ・レーベルというものです。そう。インディまたはインディーズってボクらは呼んでいるんだけど、これはインディペンデントってことは略称で「自立」だとか「確立された」といった意味なんです。

ようするに、自分たちの音楽は自分たちの手でリスナーに提供していくノって意識のもとに、メジャーレコード会社に相対する自主レコード制作から流通までのシステムを独自に備えちゃう動きなんです。

'76年にパンクムーブメントの出現でにわか



江口氏が手がけたポップバンド・バンド「有頂天」はメジャーレコードからの誘いも多い

音楽のレコード化

湧きおこったインディーズは、またたく間に急速に波及して'83年には世界中で4000以上のレーベルが作りあげられちゃっている。元祖イギリスだけを見ても、その数およそ1500とかでアメリカのレーベル数とほぼ互格というスケールの大きさ。関連会社だけで30社、スタッフ数1500人以上、年間売上げ8600億ドルという大メジャーにまで発展したヴァージンレコードは別格としても、いまやインディーズはイギリスの音楽産業の35・9%の年間生産比率を占めるまでに至っている。

その中でも主導的立場にいるラフ・トレードなんかは、メジャー組織に対抗する流通機構獲得の手はじめとして国内6ヶ所に各3店の直営店を作り、最終的に3000店を網羅する自らの流通ネットワークをわずか3年の間に作っちゃっているんですから驚きです」

「日本の場合にはちょっと違うと言われました

が、実際にはどう違うのでしょうか。

「日本の場合も、77年あたりからインディーズ現象は現れてくるんですね。ちょうどボクラがやってきた東京ロッカーズのムーブメントを皮切りに、国内に数多くのインディーズレーベルが発足されている。'77年から'78年にかけて東京で行なわれた、いわゆるボクラの仲間たちによる一連のコンサート活動の中でインディーズの発想は自然発生的に生まれてきたといえます。

でもね、日本のインディーズレーベルの発生の基盤となったポリシーは、欧米のそれとは明らかに違う価値基準のもとで育まれていったんです。ようするに、欧米のレーベルが明白に商品としての音楽を前提に発展していったのに対して、日本のレーベルは音楽をレコード化する(作品化する)という作業が中心となって動いていったために、いまひとつ業界全体の中で爆発的なパワーを発揮しきれなかった」

「戦略論が欠けていた、と。

「個人がレコードをプレスして商品として売る、あるいは友だちに記念で配るグループが現われる、それがある特定のレコード店が商品として取扱う。まあ、昔からあった自主制作レコードの延長線上に連なっていただけで、新たな流通ネットワークの構築だとか、レコーディングの質的向上だとか、利益の獲得だとかのレベルの話は完全に欠落していたわけです。

本格的に胎動し始めて10年にも満たないわけですから、それは無理もない話ですけど。ただ、夢はメジャーレコードでのデビュー、なんていまだに思っているミュージシャンに出会うと、欧米との落差を感じざるをえないですね」

完全限定3000枚

「で、欧米型の本格的インディーズレーベルを作ろうと立ち上がったのが、キャプテンレコードというわけですね。

「ええ、やはりバンド単位や個人単位、さらに



パンクロック以外にもソフトなビートやアツカなポップ・ミュージックにも目を向けつねに新しいインセンティブを追求

は、レコードの企画からマーケティング展開まで全然違うシステムをとっていますから」

すでにインディーズを支持するマーケットは開拓されている、と。

「インディーズのポリシーそのものが大きな支持を集めている。そうした中で販売の核となるレコードショップもかなりの理解を示して独自のネットワーク作りに協力してくれている。メジャーレコードが6000店もの小売店を抱えていながら1000枚や2000枚も売れない中で、我われはわずかに100〜150のお店で完全限定3000枚をキッチリ売りきっているわけです」

主張を持った商品を理解のある販路を通じて顧客に確実に売っていく。まさに理想的なマーケティング戦略ですね。

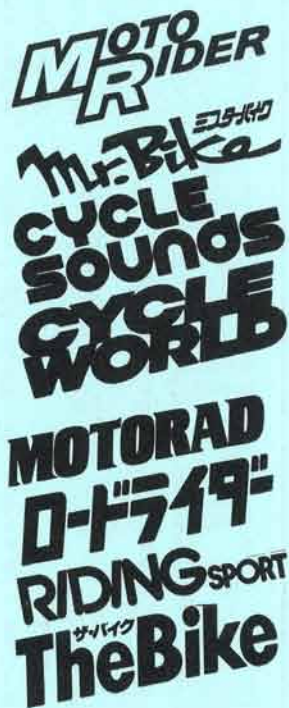
「売るといって目的に走りすぎて結局メジャーレコード会社の単なるひな型になってしまいか、それともインディーズのインディーズたるべき意義を忘れずメジャーレコードに対抗しうる事ができるか、この問題を乗り越えてうまく後者の路線を進めれば、インディーズにも次なる面白さが加わってくるはず。

現在のところは、どこにでもあっても買えないところがある、かえっていい結果を生んでいるのではないかと思います」



新宿東口でのキャプテン・レコード旗上げコンサートには1万人近くのヤングが殺到して話題騒然となる

ユーザーのバイブルとして読まれ、市場のオピニオンをリードしている2輪専門誌。販売店さんにとっても生きた情報満載の2輪専門誌の中から直接、間接にご商売にお役立ていただけそうな記事をピックアップし、毎月お届けしています。



新発売から3カ月。もうすっかり市場に浸透したTZR250ですが、その評価はユーザーインタビュウの記事でも、ライバル比較試乗のページでも、編集部評価のページでも、俄然好調というのが3月号専門誌全般の特徴です。

「2500大バトルロイヤル特集」と銘打った「ヤングマシン」の企画でも「TZRがやっぱり早い」と評価されれば、「モーターサイクリスト」のユーザー直撃リサーチでも紹介され市場でのTZR人気に一層の拍車をかけています。〔記事1〜3〕

一方、国内ではオフロードモデルの誌面への登場がやや少ないのが残念なところですが、そんな中でフランスの「モトジャーナル」は、4サイクル・トレールの先駆モデルと呼べるXT500の誕生10周年を祝っています。

「XTの名はパリ〜ダカールラリーの歴史に永久に刻み込まれた」とその実力ぶりを本文8ページにわたって紹介するとともに、表紙もXT500を囲んでシャンペンとクラッカーで誕生10周年を祝うという凝りよう。

お店でも、このヤマハXTの歴史を、オフロードモデル拡販の材料としてぜひご利用いただきたいものです。〔記事4〕

さてユニークなスクーター試乗記を毎月連載している「モーターサイクリスト」誌で今回扱われているのがトライ。女性スタッフによる試乗インプレッションを紹介したこのページでは

「パワー感よりも乗りやすさが重視された」スクーターのため「初めての子や女の子には、うってつけ」と紹介されています。

55馬力のパワーが売りもののチャンフに対して、トライは、「乗りやすさ」で最も高というのが彼女たちの評価です。〔記事5〕

各誌の読者欄は、お客さまのホンネを知るうえで決して見逃せないものですが、そんな中で目につくのが平選手ファンの女性ライダーからの手紙と、アダルトライダー夫妻のタンデムツーリング紀行。

【記事1】 ついに出版、レプブリカと呼ぶより、そのまんま。ストリートレーサーを自認するなら迷わず選ぶ、ヤマハTZR250。(中略)

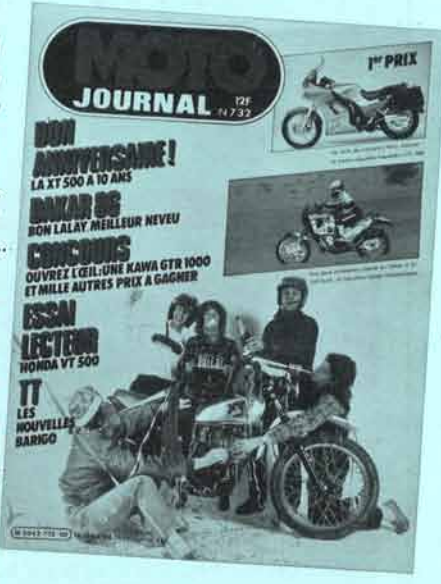
TZRに跨ると、それだけでRZとの違いを感じる。RZの幅広い乗り心地優先のシートの半分とも思えるスリムなシートはストリートに足を降ろせるので足着き性は125cc並。そして、その軽量さも125ccだ。前後左右の腰の動きにもフィットしてくれる。そして発進すると意外なほどトルクが太く、RZと変わらないフィーリングに驚かされる。新技術を投入しながらも、旧モデルの良いところを失っていない。それがヤマハのマシンであり、前後17インチホイールもその現れだろう。

【オートバイ】3月号

【記事2】 TZRの性能には全員が満足、といったところが、今回のアンケートの結果だろう。

販売店で試乗してみると、予想以上の高性能に即購入、というほどの魅力をもっているようだ。高価な車両価格も、いざ乗ってしまうと納得がいくし、安いときさ感させるのがこのTZRだ。

トルクフルな低回転域から強烈なパワーを発生させる高回転域まで、スムーズかつシャープに吹け上がるエンジン。しかも燃費は17.8km/hと意外に悪くない。



レシーライクな走りはもとより、街なかでも非常に扱いやすい。このため、女性ライダーでもストレスなく走ることができ、その点の評価は大きい。(中略)

走る、曲がる、止まる、という基本を具体化したTZRは、所有する喜びを教えてくれる。

【モーターサイクリスト】3月号

【記事3】 レーシングマシンを公道走行用に仕立て直したのではなくオンロード・スポーツをつきつめた究極の姿として造り上げられたのがTZR250である。したがって、そのスタイリングからは想像もできないほど静かな、そして中低速がたっぷりしたエンジン、しなやかなサスペンション、強力無比だがコントロールし易いブレーキといった点にそれがよく表れている。単に速く走るだけでなく、通常の使用範囲をきりげなくこなしながら、求められればまるでレーシングマシンに匹敵するポテンシャルを見せてくれる、というわけだ。

【「サイクルワールド」3月号】

【記事4】 10歳になったXT500。今年にはもうパリ〜ダカールに出場しないが、XT500の名はこのレースの歴史に永久に刻み込まれた。77年、このヘビーなビッグシングル・トレールは、その重量故にマスコミの前

シッターチャンス逃がして

リースファンの彼女が、あこがれの平選手のサイン会にせっかく出掛けたにもかかわらず、興奮のあまりしまったという話ですが、お店のお客さまがYES等のイベントで有名ライダーと逢うチャンスをつかみそうな時は「くれぐれも落ちついて」といったアドバースも大切なようです。(記事6)

現地集合・現地解散

もうひとつは、アダルトライダーが奥さまとのタンデムツーリングに際して、という形をとって「ウキウキ気分」のツーリングを楽しんだというお話。ともすれば「家庭サービス」との関係で、なかなかロングツーリングのチャンスに恵まれないアダルトライダーにとっては、新しいタンデムツーリングのスタイルと呼べそうな話題です。(記事7)



GOGGLE
モーターサイクル
カンパニー

MOTOR CYCLIST
モーターサイクリスト
Best Bike
ライダーズクラブ
モーター

MOTOR CYCLIST
MOTO JOURNAL
MOTORRAD
Cycle

評判こそ芳しくなかったが、いざ発売されると怪物のようなエンジンが好評で、たちまちXTフィーバーが広まった。

翌78年、コート・ジヴール・ラリーに参加。17台中マシントラブルでリタイアしたのは2台だけという高い信頼性を実証し、トレールのカテゴリーがまだ十分確立していなかったバイク界に新風を巻き起こした。その後、数々の栄光と伝説に包まれながら、現在までベストセラーの地位を保ち続けている。

【仏誌「モトジャーナル」1月16日号】

きれいなカラーのバリエーション。そしてとてもコンパクトなサイズ。そんなルックスどおり、トライはソフトなスクーター。パワーフィーリングもやさしいし……。初めての子や女の子には、うってつけじゃないかな。(中略)

スタートするときに急にアクセルを開けても、ウイリーなんかすることがないから、怖い思いをしなくてすむの。走っているときの加速もそうね。ソフトだからギクシャクしない。(中略)

エンジンの性格がソフトだからかしら。パワー感よりも乗りやすさが重視されている感じね。(NEWスクーターGALILEインプレッション) 【モーターサイクリスト】3月号】

初めまして平さん大好きっ子のあんです。いつも遊びに行きたいよーと思ってるのですが田舎者の私にとって改札口が2カ所以上ある駅というのははたすら異次元なのです。(中略)

古い話ですが10月18日、池袋西武での平忠彦さまのサイン会に、友人のゆかりちゃんと2人で行ったこと。ゆかりちゃんと「平さんと握手しているところ撮って」とカメラを手渡された私は、初めて

真近に見る平さんのお姿にポーズとっていたが、2人の握手している光景をたたくボケりとながめていたのです。そして平さんが帰ろうとした時、はっ！と我に返ってシャッターを押したのですが、時すでに遅く現像した写真にはMENS T E C Hの係員のおじさん達だけがしゃかり写っていたのでした。ゆかりちゃんと平さんが握手した3秒後の写真だよー」とあやまる私を許してくれたゆかりちゃんは、寛大な女の子です。バイクサージをした後のまっ黒なツメのままサイン会に行ったゆかりちゃんと握手してくれた平さんも寛大なお人です。平さんの好きな

女性のタイプは、昔風のひかえめな女性。だそうです。ではまたお手紙書きます。もつと平忠彦さんの記事も載せてくれないかやタワ。昔風のひかえめな女の子の あん でした。

【「ヤングマシン」3月号】

時は夏、折りしも子供は修学旅行、というわけで、私は女房を伴い25年ぶりにツーリングに出かけることにした。(中略)

お盆の渋滞の中、タンデムツーリング初体験。の女房は疲れるだけだと思つたので、電車で上野から沼田まで行ってもらい、私はチョンガ1気分で関越高速をひつつ飛び。沼田駅に近づくと、毎日見られた女房でも待っていてくれると思うとなぜか心ウキウキ不思議な気分！

予定より30分前に沼田駅に着く時間があるので駅前の喫茶店のモーニングサービスで一服し、彼女の列車を待ちました。5分前に改札口の横で彼女に手を振って出迎え。

ここから来てと空気が違うし車も少ないので2人乗りも苦にならず、両サイドの畑や遠くの景色を見てワンドルルのサインをしきりに出して喜んでる。(小泉弘久さん/ヤマハXV750スペシャル)

【「ザ・バイク」3月号】

情報スクランブル

お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●写真で伝えるクオリティ

『TZR250/スペシャルブック』

A4判フルサイズの迫力の大誌面に、『TZR250』とそのルーツとなった『YZR



500』の美しいカラー写真を満載。しかも後半には、『TZR250』によるレース入門の手引きから、メンテナンス法、パーツリストまで詳しく紹介されている、新しいタイプのマニュアルです。お店に一冊、若いお客さまの心をくすぐること間違いなし、ぜひ一読ください。

★★★

●一冊あれば安心して乗れる

『バイク・メンテナンス大百科』

お客さまに、日常の正しいメンテナンスを



覚えていただくことは、バイクのためにも、お客さまの安全のためにも、とても重要なことです。そこで、初心者のお客さまやメカに弱いというお客さまに、この本をすすめてみてはいかがでしょうか？ メカの基本知識から、日常点検、車体各部のメンテナンス法などが、イラストや写真などを使って親切に解説されています。

CBSソニー出版/¥1500

WAVE MUSIC SENSOR

春3月、気温の方はなかなか上がりませんが、それでも街を行く人波はどことなく活気づいてきました。こんな季節こそ、今までは一味違ったBGMで、お店を春らしく演出してみましよう。情報提供は、東京・六本木のニューメディアスペース「ウェーブ」です。

●格調高いポップスが楽しめる

『STEREOTOMY (ステレオトミー)』

いつまで聞いても飽きのこない、質の高いポップスを作り続けるアラン・パーソンが放つ、待望のニューアルバムです。今回はロンドン・フィル・オーケストラをバックに配し、格調高くシンフォニックな世界を展開しています。また、初回プレスのみの特製ジャケツトも面白さ充分です。



●躍動感たっぷりのエネルギーサウンド
『FINE YOUNG CANNIBALS (ファイン・ヤング・キャニバルス)』

ノリの良さで若者をとらえた元『ビート』のメンバーを中心に結成された、ニュー・ブレイク・ソウルのグループです。聞きものはデ

ACCESSORIES

●スクーターレースにぴったり
『バイホイックワゴン携行缶・ツールボックス付』

スクーターレースやサンデー・トライアル、サンデー・モトクロスなど、気軽にモータースポーツを楽しむ人たちにピッタリの、便利なグッズです。本体上部は脱着式の容量5リットルのフュエル缶、そして下部は工具類をスッキリと整理できるツールボックスとナットとまとまります。

お問合せ：㈱ローヤル ☎03(726)1331/¥6500



ビューシングルとなった、ジョニー・カムホームを唄うメンバーの一人、ローランドのソウルフルなボーカル。文句なしにカッコ良く、若者にウケること間違いなしです。



●ショーウィンドをいつもキレイに
『ワッペン・シールはがし』

ワッペン、ステッカー、セロハンテープ、荷造りテープなどの専用剝離剤です。ペンタ



イブのため手を汚さず、簡単にワッペンなどをはがすことができます。また、ステッカーをはがした後の糊残りなども手軽に除去できるので、お店のショーウィンドなどの掃除にもピッタリです。

お問合せ：セメダイン ☎03(442)1311/¥3000

EVENT

●海のモーターショー
『第25回・東京国際ボートショー』

モーターボートやヨット、セーリングボート、マリノウェアなど、国内外のメーカーが多数出品する、まさに海のモーターショー。最新のマリネレジャー情報も仕入れられるのでこの夏の流行もいち早くキャッチできます。開催日：2月28日～3月4日 会場：東京国際貿易センター会場(東京都中央区晴海)

★★★

●開催まじか
『第15回・東京モーターサイクルショー』

バイクフリークのための祭典『東京モーターサイクルショー』の開催も間近となりました。今年も内外の新車をはじめ、カスタム車やクラシックバイクなど約500台が展示される他、関連用品や楽しいイベントなども多数用意されています。ぜひお客さまと一緒に

にお出かけください。
開催日：3月20日～23日 会場：東京流通センター展示場(東京都大田区平和島)
入場料：大人¥1000/中高生¥800/小学生¥200

お便り
待っています！

普段のお仕事や生活の中の、ちょっとした話題をお知らせください。ご商売に関すること、お客さまにまつわる話題、ヤマハやヤマハニュースに対するご意見、ご希望など、どんなことでもけっこうです。写真やイラストも大歓迎です。

平さん、だーい好き

匿名希望の女の子より(青森県・中学3年生)

ヤマハニュースはちよつと前、平忠彦さんのインタビューが載っていた時、クラスメイトで読みたいって人がいたから学校に持っていったら、朝から帰りまで、クラス中のバイク好きに読み回され「もつとないの?」と言われました。今は毎月店に届くと、次の日に学校へ持って行って、みんなと一緒に見えています。とてもモテますよ。



あんなお店、こんなお店

どこまでやがで、ありふれた毎日だけども...

であって、毎日気分良くながめています。平さんが写ってるヤマハのカレンダーも、お父さんに1週間ねばって、やっと貰えました。とてもハッピーです。一度でいいから本物に会ってみたいです。

「遊びを提供できる店」
まずは体制づくりから

神谷清隆さん・33才(YS SP 葛西/東京都江戸川区)

独立してから丸4年、昨年10月からYS Pになりました。いま、商売をやっていく中で、一番強く感じていることは、店の体制についてです。個人的な一販売店とヤマハ専門店とは、お客さまの受け止め方からして違います。

やはりヤマハ専門店として、オートバイを楽しませてくれる店、というお客さまからの期待に答えていかなければと思うんです。日常業務におわれてしまいがちな部分にはなかなか手が回らないというのが現状なので、今年もつと店の体制を整えて、「遊び」の対応を図っていきたくと思っています。

購入していただいた車種の特徴を引きだし、最大限に楽しんでもらえるようなイベントで、もつとお客さまとのつながりを太いものにしていきたいです。YESSSなんかでも、もつと手軽に参加できるイベントを企画してもらい、「遊び」の機会が増えることを望んでいます。

仕事も趣味も、父親との二人三脚

王生隆司さん・22才(王生モーターズ/高知市)

開店して27年になる店の2代目です。YS Sの第一期生で、3年間ヤマハ関西西條で仕事を覚えたおかげで、商売も順調です。父親が大のバイク好きで、浅間火山レース(王生輝男選手)に出た経験もありますし、現在でも「Y A A R」や「M F R」をたいへん

大切にしています。仕事で判らないところがあつても、教えてもらえるし、とても頼りになります。現在の楽しみは、そんな父親と一緒に釣りに行くことで、最近では毎週のように2人で出掛けています。ボウズで帰ってくることもありますが、良いストレス解消になっていますよ。



地道な商売で順風満帆

村上友弘さん・23才(オートスポーツTOM O/神戸市)

父親の店を継いでいます。お客さんはレジャーでオートバイに乗っている人が多いので、半分は遊びでやっているような店なんです。私自身も人と話をするのが好きなので接客なんかも楽しいし、お陰さまで大した苦労もなく毎日を通していきます。

今やっているのは、店内を明るく見せること。恵まれているのは店が広いので、バイクを室内展示できるんです。ですから配列なんかの工夫で、少しでもバイクをキレイに見せようと思つているんです。ヤマハニュースの店舗紹介も、とても役に立っていますよ。こ



れからもこのベースで、地道にやっていますね。

苦手な接客を克服して

「YS SP」を目標にガンバってます。

大谷真紀夫さん・24才(大谷輪業商会/茨城県茨城郡)

筑波サーキットが近いので、お客さんとよくロードレースを見に行つています。もちろん自分も走るのは好きで、ほんの遊びですがサーキット走行をして、良い気分転換をさせてもらっています。

今乗っているのは「RZ250RR」なんですけど、なんとか「TZR250」に代替えたいと思つているんです。でも、ヘルメットや皮ツナギまで、全部青で揃えてしまったので、「TZR250」の青が出ないかな、なんて思っています。ソノートヤマハのゴロワーズカラーなんて最高ですけどね。

今年も平選手が世界GPへ挑戦するようなので、とても期待しているんです。私も苦手な接客を克服して、ヤマハをたくさん売つて、YS SPの看板を目標に頑張りますのでヤマハワークスのみなさんも頑張ってくださいね。

お便りの宛先は

〒438 静岡県磐田市新貝2500
ヤマハ発動機株 広報室・宣伝課
「ヤマハニュース」編集部まで

'86 ヤマハ・ライダー

世界選手権ロードレースシリーズ
強力3チームが500ccクラスに出場
平は250ccフル挑戦!



エディ・ローソン
●アメリカ●27才●'85年
500cc第2位



ロブ・マッケルナ
●イギリス●26才●'85年
500cc第9位



クリスチャン・サロン
●フランス●30才●'85年
500cc第3位



ランティン・マモラ
●アメリカ●26才●'85年
500cc第6位



マイク・ボールドウィン
●アメリカ●31才●'85年
A M A・F Iチャンピオン



平 忠彦
●日本●29才●'85年全
日本・国際A級500ccチャンピオン



マーティン・ウイマー
●西ドイツ●28才●'85年
250ccクラス第4位



カルロス・ラバード
●ベネズエラ●29才●'85
年250ccクラス第3位

'86年の世界選手権ロードレースシリーズは、近年になく多くのYZRが活躍するにぎやかなシーズンとなりそうです。まず、注目の500ccクラスには、これま

でのヤマハ・マルボロチームとソノトチームに、新たに「キング・ケニー率いる「チーム・ラッキーストライク・ロバーツ」が加わり、強力3チームから5台のYZR500が出場

今シーズン、世界のモータースポーツシーンで活躍するヤマハ・ライダーをご紹介します。彼らの活躍が、また新しいヤマハの記録、ヤマハの技術をつくり、モーターサイクルの世界を大いに盛り上げるのです。今シーズンも、ご声援よろしくおねがいいたします。
※なおファクトリーマシンは、2ページにご紹介しました。あわせてご参照ください。

ライダーは、チャンピオン奪還に燃えるエディ・ローソンが新しいチームメイト、イギリスの新鋭ロブ・マッケルナとともにヤマハマルボロチームから、またソノトチームから進境著しいクリスチャン・サロンが、そして話題のラッキーストライク・ロバーツからはランティン・マモラとマイク・ボールドウィンがそれぞれエントリーします。

全日本選手権ロードレースシリーズ A級4クラスに9選手が出場 250ccは奥村、片山のYNTNTン!

人気沸とうの全日本選手権ロードレースシリーズでは、国際A級の4クラスに一段と強力な布陣で参戦します。まずA級500ccクラスには、大ベテラン河崎裕之に加え、昨年250ccランキング2位の片山信二が、ヤマハレーシングチームからYZR500で出場。また世界GP出場の平も3月8・9日のスズカ2&4をはじめ、いくつかのレースにスポ

一方、500ccクラスに勝るとも劣らぬ熱戦を展開している250ccクラスにも、今シーズンは、3台のYZR250が登場します。そのトップは、ヤマハ・マルボロチームから全日戦フル挑戦の全日本チャンピオン・平忠彦。チームメイトは、西ドイツのマーティン・ウイマーです。また、このクラスの元チャンピオン、カルロス・ラバードもベネモトスチームからVツイン・YZR250での出場です。

ット参加する予定です。

また、250ccクラスでは、奥村裕と片山信二の2人がYZR250を駆って出場。長谷川嘉久、田村圭二の両選手が、'86TT250でエントリーします。

2シーズンを迎えるジェネシスパワーへの期待も一段と高まる国際A級Fークラスでは、開発ライダー上野真一に加え、昨年F3



河崎裕之 ●京都府●40才●'85年国際A級500cc第5位



片山信二 ●東京都●24才●'85年国際A級250cc第2位



奥村 裕 ●名古屋市●25才●'85年国際A級250cc第9位



上野真一 ●京都府●34才●'85年国際A級F1第8位



レイフ・パーソン ●スウェーデン ●21才 ●'85年 500cc第9位



ハッカン・カルキビスト ●スウェーデン ●32才 ●'85年500cc第15位

世界選手権モトクロスは、500ccシリーズに元チャンピオンのハカン・カルキビストとレイフ・パーソンが、昨年に引き続きYZM500で出場。また250ccシリーズでは、昨シーズン惜しいところでタイトルを逸したジャッキー・ビモンドが、スウェーデンチャンピオンのアンデルス・エリクソン、フ

世界選手権モトクロスシリーズ 500cc級はカーラ・パーソンのスウェーデン・コンビ

ランキング2位の平塚庄治が、ファクトリーマシン「YZF750」で出場。さらにA級F3クラスには、期待のルーキー塩森俊修が、平塚との新コンビで登場、ベテラン江崎正がスポット参加となります。



塩森俊修 ●東京都 ●25才 ●'85年 国際B級250ccチャンピオン、F3第3位

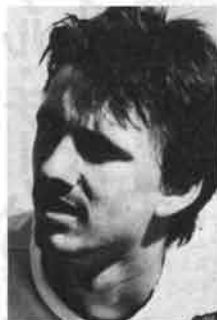


平塚庄治 ●宮城県 ●28才 ●'85年 国際A級F3第2位

アメリカのAMAモトクロス4シリーズには、YMUからおなじみのメンバーがそろって出場します。500ccと250ccの2クラスには、現500ccチャンピオンのブロック・グローバーが、また125ccにはキース・ポーエンとスコット・バンワースの2選手が、さらにスーパークロスシリーズには、グロ



スコット・バンワース ●アメリカ ●23才 ●'85年 ナショナル250cc第10位、スーパークロス第9位



キース・ポーエン ●アメリカ ●19才 ●'85年 ナショナル125cc第7位、スーパークロス第8位



ブロック・グローバー ●アメリカ ●25才 ●'85年 ナショナル500ccチャンピオン、スーパークロス第2位

AMAモトクロスシリーズ V2へ、グローバー全開!

インランドチャンピオンのクルト・ルンキビストとともに参戦します。また、YZ125改による125ccシリーズへの出場は、ジョン・バンデンベルク(オランダ)、ミカ・コウキ(フィンランド)、マルニク・ベルボエツ(ベルギー)の3ライダーです。



ジャッキー・ビモンド ●フランス ●24才 ●'85年 250cc第2位



バニー・シュライバー ●アメリカ ●27才 ●'84年 世界選手権第3位



シル・フルガ ●フランス ●25才 ●'85年 世界選手権第4位

世界選手権トライアルシリーズ '86年ヤマハのレース活動の中で、大いに注目されているのが、世界選手権トライアルシリーズです。というのも、シル・フルガ、バ



光安鉄美 ●福岡県 ●28才 ●'85年 国際A級250ccクラス第3位

川崎智之、田淵武、吉原朋正、佐々木博幸の5選手。マシンはいずれもYZ125改です。

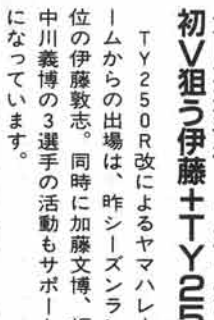
また、125ccクラスへの参加は、天田淳、

全日本選手権モトクロスシリーズ 復活に燃える光安+YZM250

バー、ポーエン、バンワースの3ライダーがそろってエントリーすることになっています。なお、500cc、250cc、スーパークロスの3シリーズに出場するダニー・ストーベック、ジム・ホーリー両選手の活動もサポートします。



伊藤敦志 ●愛知県 ●28才 ●'85年 国際A級第2位



初V狙う伊藤+TY250R改

TY250R改によるヤマハレーシングチームからの出場は、昨シーズンランキング2位の伊藤敦志。同時に加藤文博、坂口澄男、中川義博の3選手の活動もサポートすることになっています。



トニー・スカーレット ●イギリス ●18才 ●'85年 世界選手権第6位

3月のレーシングカレンダー	
2日	AMAモトクロス(125/250) ゲインズビル
8日	AMAスーパークロス デイトナ
9日	250ccモトクロス① オランダGP
	世界選手権トライアル① ベルギー
	デイトナ200マイル デイトナ
	全日本ロードレース①スズカ2&4 (8日より)
15日	AMAスーパークロス フェニックス
16日	全日本モトクロス① 埼玉・桶川(15日より)
22日	世界選手権トライアル② イギリス
	世界選手権トライアル③ 北アイルランド
23日	全日本ロードレース② 筑波(22日より)



↑東京で行われた記者発表会の席上、新チームの紹介と今シーズンの抱負を語るキング、ケニー(中央)



←新チームのグラフィックが施されたYZR500で、ヤマハコースを走るマモラ

「世界一のプロフェッショナル・チームめざす」 チーム・ラッキーストライク・ロバーツ来日記者発表

前ページの'86年ヤマハレース体制にもご紹介のとおり、YZRを駆って3度の世界チャンピオンに輝いたキング、ケニー・ロバーツが、今シーズンは、米国の3大タバコメーカーのひとつB&W社のスポンサーを得て新チーム、チーム・ラッキーストライク・ロバーツを結成、チーム監督として世界GPに復帰することになりました。

これに先がけて2月上旬には、ケニー・ロバーツとランディ・マモラ、マイク・ポールドウィンの両ライダーがそろって来日。2月7日には、東京で多数の報道陣を前に、来日記者発表も行なわれました。この席上、新監督のケニー・ロバーツは次のように、抱負を語っています。

「レースを始めた時から、モーターサイクルレースを世界のメジャースポーツに育て上げたいという夢を持っていた。今回のチーム結成は、その夢を実現させる第一ステップであり、スポンサーとヤマハの協力に心から感謝している。

当面は、2人のライダーが100%、その力を発揮できる世界一のプロフェッショナルチームにしたいと思っている。グランプリ・チャンピオンを誕生させたい。」

また、マモラ・ポールドウィンの両ライダーも

「YZR500の仕上がりもかなり良い。新チームで100%の力を発揮し、自分のレースキャリアの中で最も輝かしい記録を残したい」と口をそろえて語っていました。

なお、この、チーム・ラッキーストライク・ロバーツは、世界GP11戦の他に、日本をはじめとする極東地区での4レースへの出場も予定されています。

『もちろん、目標は世界チャンプ!』 世界GP250ccクラス挑戦の平選手



'86シーズンの世界GPロードレースでもうひとつの話題は、なんといっても全日本チャンプ平忠彦選手が250ccクラス全戦参加。

2月上旬、ニューマシンのYZR250でのテスト走行もそろそろ佳境に入った平選手に、3回目のGP挑戦の抱負を語ってもらいました。

「世界GP250ccクラス全戦と3月のスズカ2&4、9月の日本GPロードレース、10月のTBCビッグ

ロードレースが今年の主な出場レース、国内はもちろん500ccクラスを走ることにあります。

世界GPに出場する以上は、当然目標は世界チャンピオンです。私にとっては3つのサーキット以外はすべて初めてのコースですが、コースに対する順応性もある方だと思っていますし、与えられた時間にマシンを仕上げ、自分の走りをつかんでいくつもりです。チームメイトのM・ウイマーはじめラバード、マンク、リッチなどライバルもいっぱい。また、GPの250ccは過激なすこいレース展開だというのは自分でも実際にして解かっています。

YZR250もかなりいい状態に仕上がっていますので、ぜひ声援していただきたいと思います。」

盛況!カナヤカップ。 スクーター2時間耐久レース



「ヤマハ四国(株)・高松営業所」元ヤマハワークスライダー金谷秀夫選手率いるチームカナヤと「ライダーズハーバー・カナヤ高松店」では、快晴に恵まれた1月15日、成人の日に

カートランド四国で「第一回カナヤカップスクーター2時間耐久レース」を開催しました。

この日出場したのは、女性ライダー4名と速く神戸や高知からの参加者も含む88名。午前中のスプリントレース20周には、36台の予選を勝ち抜いた24台が、とてもスクーターとは思えないスリリングなデッドヒートを展開。午後のメインレース・カナヤカップ2時間耐久レースは、これまた52台による予選から、28台が決勝に進出。

400名近い観衆の熱心な声援を浴びながら当の本人、金谷選手も交えて白熱のレースをくりひろげました。

初の本格的スクーター耐久レースとあってレース後は参加者全員が大満足。表彰式では金谷選手からトロ

「スゴイ勉強になりました」 YSP・レディスメカニカルスクール開催



↑バイクの基本構造や作動もしっかりマスター「女性ライダーはメカにうとい」なんて評価とも今日でさよならです」と自身まんまん

→この日ばかりはドライバー片手に大奮闘
↓1月25日のスクールに参加されたみなさん



〔ヤマハ東京(株)・東京支店〕本誌今月号のトップにとり上げた女性スポーツユーザー特集いかがでしたか。そこでもご紹介しましたが、YSP東京ブロック会は「レディスバイク」編集部の協賛を得て、去る1月25日と2月8日の2回にわたり、YSP東京ブロック・レディスメカニックススクールを開催しました。その名のとおり、女性のスポーツバイクユーザーに、バイクのメカニズムや日常の点検についての知識を深めていただくとう企画されたこのスクールには、1回20名、計40名の予定を大幅に上回って100名を越える参加希望者が殺到して、いままらながらに、女性のバイク熱の高まりと学習意欲の大きさを物語っていました。

当日は、午前中のバイクの基本構造などの講義から始まり、午後のSRX250を前にしての点検整備の実技まで、たっぷり1日のカリキュラム。始業点検、各部の調整からオイル交換まで、参加された女性ライダーのみならず、手や顔にオイルをはね上げながらの大奮闘。「教えてほしい」という声はすべてマスターして帰りたい」という彼女たちの声に、「男性ライダーよりも数倍熱心ですね」と講師陣もビックリ。

スクール終了後は「ぜひ定期的に開催して欲しい」「次は、もう一段ステップアップした講習会を受けたい」という声がとびかうほど、有意義な1日をすごしていました。

こうして、女性スポーツユーザーの開拓や育成に積極的に取り組んでいるYSP東京ブロック会ですが、こうした活躍の一環として、YES S東京・耐久スクーターレースでも、3月21日の第2戦・サシマカートランドから45分耐久の「レディス・クラス」が設けられることになっています。



吹雪の中の デッドヒート 全日本選手権 スノーモビル開幕



冬のモータースポーツとして降雪地方のヤングたちの間では大きな人気を集めているスノーモビル。そんなスノーモビルのメインイベントともいえる'86全日本選手権シリーズが、1月26日の新潟スノーモビル大会からスタートしました。

この日会場となった新潟県南魚沼郡・塩沢パラダイスホテル特設コースは、折りからの猛吹雪。遠く北海道から参加の選手も交え、8クラスに148名が、熱戦をくりひろげました。

ヤマハスノーモビルが大活躍するこのスノーモビルの全日本選手権シリーズは、3月9日の第4戦、知床大会(ウトロ特設コース、主催・北海道ヤマハ(株)北見営業所)まで全4戦が行われることになっています。

ファイヤー記念品を贈られて、にぎやかにスクーターレースの一日を終りました。

09のキャンペーンで春商戦にスターダムデビュー

陽春3月、いよいよ本格的な春商戦の開幕です。この時期にヤマハでは、次の3つのキャンペーンを一齐に展開し、販売店のみなさまの活動を強力にバックアップさせていただきます。

TZR250/FZ250ユーザー・サーキット試乗会

本格的なスポーツバイクシーズンの開幕にあわせて、2サイクル&4サイクルの人気ナンバーワンモデルのサーキット試乗会を開催。この春のスポーツバイク市場を一気に活性化します。(北海道、東北を除く)

▼日程：TZR250およびFZ250フェーザー購入見込客
 1サー購入見込客
 ▼日程：3月14日(金) 東京(ヤマハコース)
 3月15日(土) 中部(ヤマハコース)

YAMAHAクォーターフェア

3月、4月の2ヵ月間にわたり'86年スポーツバイク商戦の主力となるTZR250、FZ250フェーザー、SRX250など、

250cc/クォーターバイクを中心に「見て、触れて、乗って、いただく機会を提供。積極的に売り場に結びつけていただくのが、

3月1日発売の「オートバイ誌」、モーターサイクリスト誌」を通じて全国告知も展開されるこの「TZR250/FZ250フェーザーサーキット試乗会」を、お店でもこの春の両モデルの拡販にお役に立てください。

3月22日(土) 関西(ヤマハコース)
 3月27日(木) 中国、四国、九州(西日本サーキット)

きまず。どうぞ、みなさまのお店でもこのキャンペーンをフルに活用され、春需要を大いにもりあげてください。

Y.E.S.S.

『Y.E.S.S.ジェットツーリング in 沖縄』をぜひ、お客さまと一緒に お楽しみください!

寒い季節は暖かな沖縄でツーリング!—の呼びかけで大好評の「Y.E.S.S.ジェットツーリングin沖縄」。すでに2月の実施分(参加希望者殺到のため1日ずらして2回実施)は終了し、あとは3月の実施(こちらも急遽2回実施に変更)を待つばかりとなりました。その3月実施分の参加申込み締切りも、残すは2週間のみ。このチャンスに、ひと足早い初夏のツーリングをお楽しみください。

■実施要項

コース	日程	締切	出発地	旅費	定員	宿泊
A	3/29(土)	3/14(金)	羽田・発	89,100円 (63,900円)	60台	JAL プライベート リゾート オクマ (OKUMA)
	30(日)		大阪・発	77,700円 (54,700円)	30台	
	31(月)		福岡・発	65,900円 (45,100円)	15台	
B	3/30(日)	羽田・発	89,100円 (63,900円)	60台		
	31(月)	大阪・発	77,700円 (54,700円)	30台		
	4/1(火)	福岡・発	65,900円 (45,100円)	15台		

- 参加はあくまでY.E.S.S.スタッフに限ります。(定員になり次第、締切)
- 旅費には往復航空運賃、バイク空輸代、宿泊代(2泊)、食事代(2朝食、2夕食)が含まれています。
- 旅費欄の()内は、タンデムライダーの参加料金です。(つまりバイク空輸代を差し引いた金額)
- 宿泊は3名1室を基準とします。(ツイン希望者は1名1泊につき1,000円追加)
- 上記料金は250ccクラスの車両を基準とします。(251~600ccは7,000円追加、601~750ccは10,000円追加、751cc以上は要・応談)
- その他、ヤマハワークスライダーをまじえたパーティも予定しています。

※ここにご紹介しましたキャンペーンの詳細は、担当のセールスマンにお問合わせください。

ヤマハクォーターフェア用ツールの横断幕、ヤマハのぼり、連続旗、および安全点検/ヤマハ・チェック・チェック・キャンペーン用ツールは、年間を通じて常時ご使用いただけます。

安全点検 ヤマハ・チェック・チェック・キャンペーン

春需要が立上るこの時期に「安全点検」をはじめとする基本作業によって、お店とお客さまのつながりを深め、固定客化への布石に、また新規客開拓の糸口にさらには積極的な代替の促進に、幅広くお役立ていただくという

この「YAMAHAクォーターフェア」です。一般スポーツユーザーや有力見込み客に幅広く呼びかけ、より実効的なキャンペーンとしていただくために、3月1日発売の月刊「オートバイ誌」、「モーターサイクリスト誌」を

通じて全国に告知。同時に、ステッカーDM、横断幕、連続旗、ヤマハのぼり、レースヒテオ等のツールも用意。またイベントテント・パラソル等も特別斡旋をさせていただきます。

●このページは、ヤマハ発動機各課から販売店のみなさまへの業務連絡です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店、販売会社の営業技術課(サービス)、普及課(セフティ/モータースポーツ)、部(商品営業課(ハーツ))までお問合わせください。



同時に、免許教室をお店の活動として、積極的に活用され、今後もYRS 50ccライセンスコースを計画的、定期的に自主開催されるYOUSHOショップさまに対しては、YRS 50ccライセンスコース推薦店として認定。

YRS 50ccライセンスコース 推薦店

原付免許の新規取得者の数が、年間じつに80万人。このほう大な取得者を計画的にカバーし、スクーターユーザーとしてより確実にご商売につなげていただくために、時代に即した原付免許教室としてYOUSHOショップさまを対象にした、YRS 50ccライセンスコース。がスタートします。

原付免許教室が新しいネーミングでスタート。YRS 50ccライセンスコース

店章看板、店章ステッカーの提供、LVスタディシステムの斡旋、マスコミへの広告掲載など、YRS 50ccライセンスコースの開催運営をバックアップさせていただきます。

時代に即した LVスタディシステムも導入

原付自習セット、原付免許教室ビデオテープなどの従来の教材に加えて、新たに50ccライセンス・レザナビジョン(LV)・スタディシステムを開発・導入するのもYRS 50ccライセンスコースの特徴です。

これは、原付免許の新規取得者が高校生やOLなどのヤングに集中している最近の傾向にあわせて開発したもので――

●ゲーム感覚、遊び感覚で学習できる

●画面との応答で学科知識の習得もスピーディ
●模擬試験で能力を自己判定できる
●スピーディな画面選択で繰返し学習に便利
●実力にあわせて次のステップが選べる
●などのメリットを備えています。

そしてこのLVスタディシステムは、レザナビジョンプレイヤー「ヤマハLV-X1」とLVパッケージ「LVディスク」1枚、「問題集解答用紙100枚」「LV解説パネル」がセットになっており、同時にLVスタディシステム・ウィンドステッカーとヘルティも用意しています。

※YRS 50ccライセンスコース推薦店およびLVスタディシステムについて詳しくは、ヤマハ特約店、販売会社各営業所の普及担当宛お問合わせください。



●4月の技術講習会スケジュール
 4月8日(火)～10日(木) 2～単気筒
 4月研修センター(東京)

好評実施中！サービス機器・工具特別セール

4月30日までの予定で開催しているサービス機器、工具の特別セールは、早くも各地の販売店さまから大変ご好評をいただいております。

とくに、認証工場の資格取得に必要な機器また省力化機器を中心に斡旋している今回の特別セールですが、その中でいま多くの販売店さまの関心を呼んでいるのが、写真の部品洗浄機、ミニバットクリーナーNPC-30(水戸工業(株))です。巾500mm掛ける奥行400mmの小スペースで、もちろん認証基準をカバーしたものです。

どうぞ、お店のサービス工場にも、ぜひお備えください。



〔1月23日～25日、2～単気筒コース・北海道ヤマハ(株)〕
 後列左からYSP帯広・橋場孝雄社員、株東商・松田健一社員、南トヨキ渡辺商会・新庄勝彦社長、YSP旭川・中時仁志社員、オートランド札幌・竹内克彦社員。前列左からYSP札幌中央・東郷芳明社員、東商・大高邦彦社員、ヤマハショップゴウダ・合田英生社員、ヤマハショップエリス・長島忍社長



〔1月27日～29日、2～単気筒コース・北海道ヤマハ(株)〕
 後列左からはとリスports商会・服部好泰社員、釧路オートワン・片倉昭生社員、同・松川一行社員、YSP札幌中央・加藤康弘社員、YSP道央・岩井等社員。後列左からYSP函館・保村和幸社員、ヤマハプロショップたむら・藤田社員、術フレンドサイクル・中川栄社員、サイクルショップ西野・久保田修身社長、オートランド札幌・佐藤栄一社員



〔1月16日～18日、4～DOHCコース(東京)〕
 後列左から術サイクルロードイーター・森田孝社員、術アライモーターズ・天野裕久社員、オートショップアングル・大場英司社長、術山田輪業・山田幹雄社長、松崎モーターズ・岡田和彦社員。前列左からYSP宇都宮東・見目浩章社員、術サカエオート・市川英男社員、同・持地孝一社員、術長後モーターズ・太田浩幸社員

※この欄に関するお問合わせは、もよりのヤマハ特約店販売会社の営業技術課へどうぞ。

ヤマハ技術講習会修了者(紹介)

15日(火)～17日(木) 4～DOHC
 22日(火)～24日(木) 2～2気筒
 〔警田研修会館〕
 4月9日(水)～11日(金) 2～単気筒
 22日(火)～26日(土) 新人サービスマン
 〔研修センター神戸〕
 4月2日(水)～4日(金) 2～単気筒
 8日(火)～10日(木) 4～DOHC
 15日(火)～17日(木) 電装コース



〔1月9日～11日、2～2気筒コース(東京)〕
 後列左から術たかはし輪業・宮下喜三社員、YSP船橋北・岡崎昭広社員、オートショップアングル・大場英司社長、サイクル松村・松村竹治社員。前列左から佐藤輪業・荒幡守孝社員、術サイクルロードイーター・園分清社員、サイクルショップ原口・原口剛社長



〔1月28日～30日・高橋商店管内スポーツ店技術講習会、4～DOHCコース(東京)〕
 後列左よりモーターサイクルセンターオダジマ・三宅和博様、長谷川輪業・長谷川博様、西正輪店・西沢敬夫様、モトスポーツインパシ・黒沢登志彦様。前列左から術清水輪業・清水一弥様、術ライダーズスピリットドゥ・竹之内泰様、半田輪店・岩淵保夫様、高橋モーターズ・高橋洋二社長

バイクで触れる 自然が大好き

仮面ライダーズ

回(有)サカエオート 中村哲雄社長(群馬県太田市石原2560-1)

オンロード全盛の昨今でも、自然を大切にしながら、バイクを通じての自然との触れ合いを求めてオフロードのツーリングやトライアル・ランを楽しむ人たちが、多々います。恵まれた環境の中で「そこにオフロードがあるから走るのだ」とオフロードの楽しさを存

分にエンジョイする。仮面ライダーズのみなさんも、そんな根っからの自然志向派です。

●3泊4日の大ロング・アドベンチャー・ツーリング

15年程前からオフロードライディングを楽

しみ始めた中村社長のもとに、同好の人たちが1人、2人と集まってスタートした。仮面ライダーズ。

それだけに、いまや30人に増えたメンバーも全員が大のオフロードファン。「バイクの速さや巧さなんて関係ない。バイクを通じて自

然との触れ合いを楽しもう」と、上信越の山やまを元氣一杯に走りまわっています。

そんなクラブ員にとって、1年で最高の楽しみは、シーズンが始まる5月の連休と、シーズンが終る晩秋11月の2回開催される3泊4日の大ロング・オフロードツーリング大会。これは特別に目的地など定めず、1日に10時間も山野を走りまわるといふアドベンチャー・ツーリング。とはいえず、走るシケインと呼ばれるピギナーから国際B級クラスの人までが一緒になって楽しんでいます。

この大ツーリングの費用は1日約1万円。「できるだけ経費をかけないように工夫しています。逆にコースの中にいろんな楽しさを演出できるような場所を取り入れるようにいろいろと努力しています。宿泊地は、昔の宿場町の旅籠のような所を選んで、その土地の風情をじっくり味わえるようにしたりね。

ともかく、1日10時間も走った後の温泉などは最高。途中の話をサカナに、みんな童心に帰って大変ですよ」

●海外の自然も走ってみよう

なんとなく、にぎやかな会話が伝わってくるようですが、こんなアドベンチャー・ツーリングができるのも学生時代に山登りで行った中村社長のキャリアがあればこそ。得意の「図説」でこんなアドベンチャー・ツーリングでもひとりで迷子になったことはないというほどです。

「でもオフロードの一番の魅力は峠越えですね。越えられるか、越えられないか、といったくらいが最高。まあ125ccから600ccまで一緒に走りますから、あまり無理はしません



「山に入れば元氣が出てくる」という中村社長のまわりには、いつもオフロード好きのお客さまが集まってくる



れども、これまで半分くらいの峠は引返して来てしまいましたよ」

また、こうしたオフロードツーリングができない冬の間の「仮面ライダーズ」のみならずの楽しみは、もっぱら利根川河川敷でのモトクロス。クラブ員総出で約3・5キロのコースで河川敷特有の走りを楽しんでいます。

「こちらでも、ただ走っているばかりではつまらないのでクラブ員だけの2時間耐久レースなどもやっています。DTやXT、セローなんかで30人のメンバー全員が思い切り走りまわっている。冬場だけの遊びですけど、アドベンチャー・ツーリングとはまた違った楽しさがありますね」

こうして「仮面ライダーズ」のみならずの楽しみは、林道や峠道からモトクロス・ランへとしだいに広がってきているのですが、最近ではこんなオフロードの楽しさをミックスしたような羽鳥4時間耐久レースなどにエントリするクラブ員たちも表われています。

そして、こんな人たちに對しても中村社長は、オフロードの楽しさをどんどん広げていく彼らを応援したい、と積極的にバックアップ。さらに、この楽しさを求めて、海外の大自然を走る機会をぜひつくりたい、と夢を大きくひろげています。

Y.E.S.S.スタッフを マーケットリーダーにしよう

お店のY.E.S.S.スタッフ、何人になりましたか？
従来のクラブ員はもちろん、それ以外のスポーツバイクやスクーターのお客さま、さらに女性やジュニアのお客さままで、この機会にY.E.S.S.にお誘いして、お店のマーケットリーダーとしてお育てください。

Y.E.S.S.では、今年も昨年以上の活動を考えています。そして、これを通して皆さま方のお店への来店促進を進めていきたいと考えています。

皆さまのお店でも、ぜひ、ご商売の一端としてY.E.S.S.スタッフの拡大をとらえ、お客さまとお店とヤマハとの大きな“輪”作りにご協力ください。

住所および氏名の変更は すみやかにご連絡ください！

Y.E.S.S.スタッフへの郵送物が戻ってくるケースが多く見られます。お店のスタッフに対するご確認を、いま一度お願いします。

■変更手続きの要領

住所および氏名の変更手続きは、スタッフ参加申込書を通して行なってください。

①スタッフ参加申込書の右上(コード欄上)の空スペースに、赤字で、「住所変更」または「氏名変更」とご記入ください。

②さらに、住所変更の場合には氏名と新しい住所(新しい電話番号も)を、また氏名変更の場合は新しい氏名のみを、やはり赤字でそれぞれの指定欄にご記入ください。

③スタッフ参加申込書は、ご本人控、加盟店控、拠点控、本社控の4枚綴りの複写タイプになっていますが、この変更手続きは、ご面倒でもそれぞれ1枚ずつに赤字で上記の要領による変更記載をお願いいたします。



社員コード 加盟店コード 店舗番号

住所変更欄
住所変更の欄に住所変更の旨を記入し、変更後の住所を記入してください。

1	氏名	ヤマハダ 山本太郎	05703 -2-1111	1
2	住所	〒438 静岡県静岡市新島	2500	2
3	性別	男	女	3
4	生年月日	19 年 月 日	4650415	4

■郵便局への転送届け

また、住所変更されたスタッフで、いまだ郵便局への転送届けを出されていないお客さまがおりましたら、すみやかにその手続きをされるようご指導ください。

※上記の件につきまして、ご不明な点は、担当セールスマンまでお問合せください。



お客さま自主運営のクラブ活動が仲間を増やし、固定客を拡げていく

MOTOR SHOP トヨハシ 高橋建夫社長
愛知県豊橋市西岩田2丁目12-3
05322(02)8715

遊びどころにあふれる、明るく開放的な雰囲気のお店には、どんな時代でも自然にお客さまが集まり、その輪が広がっていく。そんな思いを改めてつよくさせられたのが、今回お訪ねした「MOTOR SHOP トヨハシ」さんです。

●3倍増のスポーツバイク

「MOTOR SHOP トヨハシ」さんのお店は、愛知県豊橋市の中心街から3キロほど離れた郊外、ここに移転してまる1年が過ぎました。

お客さまの増加につれて、以前の店舗では手狭になったことから、昨年2月に現在の場所に移転されたのです。敷地面積343平方メートル、ショールーム66平方メートル、店頭のオープン展示スペース99平方メートル、そして残る132平方メートルがサービスマンと倉庫さらに住居……として使われていますが、じつはこれすべてその前に使用していたネジ会社のレイアウトを、そのまま利用したもののなのです。お店を中心に半径20キロと広い商圏を持つ「MOTOR SHOP トヨハシ」さん。エリア内の世帯数約2万。お客さまの7割はスクーターユーザー。

「でもスポーツバイクが3倍ぐらいに増え、総販売台数も、同じくらい膨らんでいるんですよ」というように店舗移転の効果は確実に表れているようです。

そして、現在のお店の活動は、新聞折込みチラシとタウン誌「とよはしっ子」への広告掲載です。しかし、なんといっても最も大きな威力を発揮しているのは、お店のスポーツクラブ「チーム8ストローク」の活動から広がっていくクチコミと紹介販売。これが新規来店者全体の8割にもほり、先のスポーツ販売の3倍増の原動力ともなっています。

●クラブ活動は、お客さま同志のコミュニケーションの場

単なる商品の提供にとどまらず、情報提供、遊びの提供、アフターサービスなど質の高いサービスの提供や付加価値の提供の必要性が叫ばれている昨今ですが、遊びの提供者として、また最高の情報源となつて「MOTOR SHOP トヨハシ」さんのご商売を盛りあげているのが、他ならぬお客さまの自主運営クラブ「チーム8ストローク」の活動です。

その名のとおおり、8名のお客さまでスタートしたクラブもいまや30名に拡大。会員以外でも自由に参加できる開放的なクラブで、活動もミニバイクレース（主催と出場）、F3レース、ノービス250ccなどといったロードレースからツーリングやみんなで遊ぶお楽しみ会的イベントまでさまざまです。

「もともとミニバイクレースが動機で生まれたクラブなのですが、なによりも先細りにならないように「ユーザー同志のコミュニケーションの場」のつもりでつづけています。ですからレースもツーリングもお楽しみ会もまったく同じレベルのクラブ活動なんです。つまり参加自由の遊び場。ここから横への広がりが生まれてくる。そんなことから、レースの時にはツーリングを楽しんでいるクラブ員が手伝いや応援に駆けつけるんです。また古いメンバーとか新しいメンバーなんて

意識もないから、ツーリングに行くといつも新しい顔があるんです笑」

「ご商売とクラブ活動の両立、というのはなかなか難しい面も多く、苦い経験をお持ちのお店も少なくないようですが、高橋社長のクラブ運営のコツは「成り行きませ」とか「成り行きませ、なんていういかにも無

責任なようですが、お客さまのニーズ、遊びのニーズなんて絶えず変化するもんですよ。それを店の都合で、うちのクラブは……なんて決めつけてみても、会員にとっては窮屈なだけで、なんにもならない。そんなことよりお客さまが主導権を持ち、お客さまが自主的に運営することを第一に考えているんです。



「雰囲気のいいお店。というお客さまの定評を裏づけるように、こんなお客さまとの談笑シーンがとて多い高橋社長（左から2人目）と奥さま美代子さん、スタッフの谷田孝二さん（右から2人目）

車種	自賠責保険料	重量税
425cc	36,250	5,000
450cc	46,650	5,500
500cc	55,000	6,500
550cc	62,450	7,500
600cc	70,000	8,500
650cc	77,650	9,500
700cc	85,400	10,500
750cc	93,250	11,500
800cc	101,200	12,500
850cc	109,250	13,500
900cc	117,400	14,500
950cc	125,650	15,500
1000cc	134,000	16,500

登録費用 5,000円
印紙代 1,000円

諸経費もひと目でわかるように店内に掲示

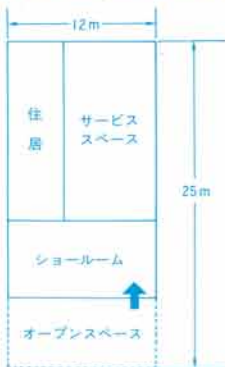


↑66㎡のショールームは明るく、とても開放的

→用品コーナーには、お店のクラブのネーム入りジャンパーやトレーナーも

←ショールーム奥のこのコーナーで、クラブ員やお客さま同士が自由にくつろいでいく

↓TZR250には'86TZ250を配してイメージアップ



店頭に並んだカラフルなスクーターは、格好のアイキャッチャー。ショールームには「TZR250展示中」の特ダペイントも

私もユーザーの1人として参加しています。こんな店とクラブの関係が守られているからこそ、レースからツーリング、スクーターを使ったお楽しみ会なんて誰もが参加できる遊びが生まれ、新しいお客さまを引き込んで増やしていけるのだと思っています」

●セールス・トークもライダーの立場から

クラブの活動が理想的なカタチで二商売に直結されている『MOTOR SHOP トヨハシ』さんですが、もうひとつの人気の原因は、どうやら店頭でのセールストークにあるようです。

「別に特別なことをしているわけではありません。主力商品を必ず店でおろし、スタッフ全員が試乗して、データや活字でいわれたもの以外の情報をお客さまに伝えているだけです。いまやオートバイに関しては、ユーザー、ノンユーザーを問わず持っている情報量は大変なものですからね。専門誌やカタログの情報を、いくら店頭で繰り返しても、お客さまには何の説得力もない。

それよりも、そんなデータや情報を初心者にもわかりやすい「体験談」として話してあげるようにしているんです。このために去年はJOG、チャンプ、FZ400R、SRX250、TZR250などを店用におろしましたけど、これがまず来店客へのサービスの第1歩だと思っているんです」

と語る高橋社長。

「基本的にライダーは、今も昔も変わりません。乗って、走って楽しむ。ただ今の人は1人でではその方法を見つけれない。そこを店でフォローしてあげることが大切なんです」

「といいながら、自分は下手だからみんなの足手まといになる」といって、クラブのツーリングに参加するのをためらっているお客さまに、直前までマン・ツー・マンの乗り方指導などもされています。そして、そんな心配りのひとつひとつが、実を結んで「安心して楽しめる店」のイメージが、着実に浸透しつつあるのです。

■お店のPRに、クラブ活動の活性化に

プリントオーダーシステムを
ご利用ください!

●86春・夏ヤマハラデザインングウェアの商戦もいよいよ本格的なスタート。そこで今月は、これらのウェアの拡販策のひとつとして、ヤマハプリントオーダーシステムについてご説明しましょう。

●対象ウェアは4アイテム
●最低ロット数は10着

●10色以上の個性化の時代、スポーツ・レジャーやコンパに見られるサークルの時代に、ヤングのニーズに見事に応えたヤマハプリントオーダーシステム。皆さまのお店でも、店名PRをはじめクラブのユニフォーム作りによる活動の活性化等に、大いに活用ください。

●鮮やかなカラーとファッショナブルなシルエットで定評の86春・夏ヤマハラデザインングウェアの中で、ヤマハプリントオーダーシステムの対象ウェアになっているのは、以下の4アイテムです。レシーナもものからカジュアルなもので、お客さまの好みに合わせてお選びください。

●プリントオーダーは10着から受け付けます。そして、プリントする着数が多くなればなるほど、一着あたりのプリント価格はお安くなります。また、全部が同一アイテムでなくても、プリントは可能です。多くのお客さまに呼びかけ、一度に数多くプリントすることが安くあげるコツといえます。(追加オーダーの場合は初回オーダー価格と同じになります)

※詳しくは、担当パーツセールスにご相談ください。

RY-105 レーシングブルゾン

210Dナイロン100%のオシャレなレーシングブルゾン。レッド&ネイビーとサックス&ネイビーの2カラー。サイズもS、M、L、LLの4サイズが揃っています。
¥12,800。



※写真のバックプリントは、オーダープリントの実例です。

RY-111 レーシングブルゾン

蛍光素材を使用した、視認性の高いブルゾン。素材はポリエステル100%、カラーはオレンジ2種、サイズはM、L、LLの3種類です。
¥9,200



※写真のバックプリントの内、上(ヤマハロゴ使用プリント)はプリント済み商品で、下はオーダープリントの実例です。



とっつき、ふんわりとご出席ください!
'86'87秋・冬
ヤマハラデザインング
ウェア内覧会
'86-'87秋・冬ヤマハラデザインングウェアの内覧会およびご予約会を、この4月に全国8カ所の会場で開催します。
お客さまのニーズを先取りした秋・冬ヤマハラデザインングウェアの新作の数かずを、ぜひその目でお確かめいただき、'86年後半から'87年前半の用品拡販のご計画をお進めください。

●うちの用品コーナー

全国各地で積極的に用品販売に取り組むお店から、用品ディスプレイのノウハウをご披露いただくこのコーナー。

第2回目は、神奈川県横浜市で確実なマーケットを築く『YSP川崎』(佐々木誠社長)さんを訪問しました。

国道1号線沿いに店舗を構える『YSP川崎』さんは、40坪の1階を本体

展示にあてて、用品コーナーは2階に設置。倉庫スペースを除いた22坪でゆとりある展示を行なっています。

なかでもユニークなのが、店内の各所に設けられたワンポイント展示。以下の写真はライダーの心をとらえるアイデアあふれるディスプレイの数かずです。



低いラックやテーブルをうまく生かしてディスプレイし、上部の空間を確保して用品コーナー全体を広く見せている。奥のコーナーでは楽しいバイクライフの生活提案も行ない、トータルコーディネートもキチンとアピール

「用品コーナーはすべて担当者(栃木かをり主任)にまかせています。見やすく、落ち着いた雰囲気をお客さまに大切に、お客さまが長くいても疲れないうる気を配っているようです」とは佐々木社長



階段の壁面にさりげなくディスプレイされたヘルメットとジャンパー。ヘルメットの中には電球を組込んで照明としても利用

タイヤを利用したフロアテーブル。タイヤの中には白砂を入れてキーホルダーやアクセサリ類を展示、ガラス板の上にもさりげなくグローブが置かれている



※写真のバックプリントは、オーダープリントの実例です。

RY-112 ポケットブルゾン

ブルゾンをポケットに収納すると、ベストポーチとしてベルトにつけられるという優れモノ。素材はナイロン100%、カラーは5色、サイズはS、M、L、LLとレディスサイズも用意しています。¥8,800。



チームヤマハブルゾン

リップストップナイロンにウレタンコーティングした手ざわり爽やかなチームヤマハユニフォーム。カラーはレッド&ホワイトとネイビー&ホワイトの2色、サイズはM、L、LLの3サイズです。¥7,800



地区	会場	主催
北海道	札幌木工センター(札幌)	北海道ヤマハ
東北	スポーツランドSUGOファンクションルームA(仙台)	ヤマハ東北
関東	五反田TOC/13F 特別ホール(東京)	ヤマハ東京
中部	名古屋国際センター/4F 大展示場(名古屋)	ヤマハ中部
関西	大阪マーチャンダイズマートビル(大阪)	ヤマハ関西
中国	広島県民文化センター(広島)	ヤマハ中国
四国	高松卸センター/2F 大ホール(高松)	ヤマハ四国
九州	チサンホテル博多(福岡)	ヤマハ九州

※日程および詳細についてのお問合せは、主催の各販売会社・部品営業課までどうぞ。

THE LATEST AD

FZ400R

YAMAHA

リアルレスポンス、標準装備。

高性能マシンを極める術と習性を備えたライダー達。メカニズム・パフォーマンス・ライディング感覚に、いささかの妥協も許さない彼ら。FZ400Rは、100km/hを維持しながら、人間の体性に限りなく空気にレスポンスする動力を追求する。鋭角的なレーシング・テック・ジョーを投入して開発され、丹念な熟成を重ねてきたヤマハ4ストローク・ピュアスポーツ、FZ400R。そこには、マシンに求められるレスポンスとはスカム・リアリティを兼ね備えては無い、という基本思想がある。パワーユニットでシャワーをまとめること、ライディング・ポジションから美しいフォルムにいたるまで、すべてが、ライダーの感性をダイレクトに表現するために存在し、より緊密な一体感をもたらすこと、それが、高性能モーターサイクルの持つべき、リアルレスポンスなのだ。そしていま、より速く自在な走りにより様々な存在を、要求するライダー達に届けよう。リアルレスポンス、FZ400R、新発売。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。■ヘルムは必ず正しく、しっかりと着用。■乗車・整備ももちろん、安全のためには「ヘルムは必ず正しく、しっかりと着用。■乗車・整備ももちろん、安全のためには「ヘルムは必ず正しく、しっかりと着用。」

55mph

*****スペイン特許など、売価の100ページ、106500円

■リアルレスポンス、標準装備。——これは、3月発売の2輪専門誌に掲載するニュー『FZ400R』の新発売広告です。

■走る、曲がる、止まる——たしかな基本機能と走りに徹したライディング・ポジション、さらにそのフォルムの美しさによって『FZ400R』は、4サイクル・ミドルスーパースポーツ、ナンバー1の評価を集め、ヤングの間に、“名車”として定着しつつあります。

■そんな『FZ400R』の、3年目のさらなる熟成は、“名車・FZ400R”を一層浸透させ、商品サイクルの短命化が進む中で、ロングセラーモデルとしてしっかりと定着させるものです。

■TZ R250とこのニュー『FZ400R』で、この春、お店でもより活発なスポーツ商戦をご展開ください。